

PUBLIC GOLF NEWS

パブリックゴルフニュース 82号



第48回 全日本パブリック

16歳関将太選手が
大混戦を制し笑顔の初優勝

第14回 全日本女子パブリック

柴田香奈選手、初日69の
スコアで逃げ切る

誰もが競技ゴルフを味わえる
2015年パブリック主催競技全日程

パ選からミッドシニアまで選手権競技全網羅
2014年競技レポート&成績掲載

すべてのゴルファーのためのプレー・フィールド
全国82カ所
PGS会員コース紹介

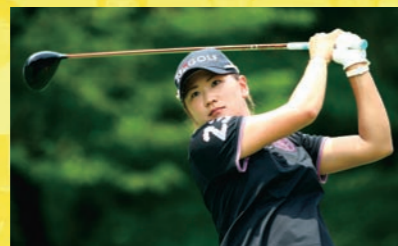
ゴルフを知る辞典
伝統が変わる時
ゴルフ史研究家 久保田誠一

パブリック選手権グアム大会
競技レポート

独占インタビュー

成田美寿々
パ選出身22歳の夢の掴み方

「私も出場したことがある予選で多くの方に
ツアープロ気分を味わって欲しい」



Ichiro Tanimoto



スポーツ振興くじ助成事業

DUNLOP

松山英樹
(2014年 サ・メモリアル・トーナメント優勝)

世界一に とどく飛距離か。

スリクソン NEW Zドライバー、登場。

ただ世界の頂点だけを見つめ、すべてを一新した飛びのスリクソン。
かつてない飛距離と揺るぎない安定性能を両立する、NEW Zドライバー。
その想像を超える飛びは、第一打から勝利を確信にとどかせる。



キーガン・ブラドリー
(2011年 全米プロゴルフ選手権優勝)



グレイム・マクダウエル
(2010年 全米オープン優勝)



数量限定モデルの400cm³
Z945



飛距離と操作性の430cm³
Z745



飛距離と安定性の460cm³
Z545

加速する飛び。「ブースターカップフェース」

NEW Zは全モデル高反発カップフェース。この新設計により、スイートエリアを35%も拡大(Z545)。ボール初速をアップし、オフセンターショット時も揺るぎない飛びを実現。果敢な攻めを可能にする。



※特許出願中

SRIXON®

DEDICATED TO IMPROVING YOUR GAME™

スリクソン NEW Z
スペシャルサイト



●株式会社ダンロップスポーツマーケティング 〒108-0075 東京都港区港南3-8-1
●詳しくは<http://golf.dunlop.co.jp/>へ。●商品のお問い合わせ 0120-65-3045

スポーツといっしょに生きる
ダンロップスポーツ



PUBLIC GOLF NEWS

表紙イラスト
久我 修一

イラストはミッドアマ優勝者 谷本伊知郎選手



「サンレオ」はヤマト徽章株の商品ブランドです。

感動の瞬間をかたちに

喜びをあなたに

C O N T E N T S

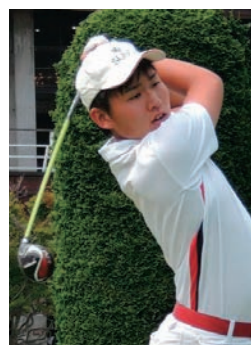
パブリックゴルフニュース 82号

ごあいさつ

- 5 三野哲治
公益社団法人日本パブリックゴルフ協会会長(代表理事)

独占インタビュー

- 6 成田美寿々
—パ選出身22歳の夢の掴み方



- 8 パブリック選手権グアム大会競技リポート

- 22 ゴルフを知る辞典「伝統が変わる時」
ゴルフ史研究家 久保田誠一

- 39 各地区決勝成績一覧

- 50 すべてのゴルファーのためのプレー・フィールド
全国82カ所 PGS会員コース紹介

- 52 誰もが競技ゴルフを味わえる
2015年パブリック主催競技全日程

公益社団法人日本パブリックゴルフ協会の沿革

昭和37年5月	関東パブリックゴルフ協会設立(任意団体)
昭和39年3月	日本パブリックゴルフ協会に改称
平成 6年3月	民法第34条の規定による社団法人として、平成6年3月1日付けで通商産業大臣による社団法人日本パブリックゴルフ場事業協会設立認可。
平成22年3月	昭和37年創立以来、生涯スポーツであるゴルフの普及振興を目的として、国民の健康の保持増進、余暇活動の充実等豊かな国民生活の実現への寄与を目的として活動しており、平成22年3月に内閣府より、スポーツ団体第1号として公益社団法人の認定を受け、公益社団法人日本パブリックゴルフ協会として再スタート。

2014年 全日本パブリックゴルフ選手権

- 10 全日本パブリック選手権
- 12 全日本女子パブリック選手権
- 14 全日本ミッドアマ選手権
- 16 全日本女子ミッドアマ選手権
- 18 全日本シニア選手権
- 20 全日本女子シニア選手権
- 21 全日本ミッドシニア選手権

2014年 全日本パブリックゴルフ選手権 地区決勝

パブリック選手権

- 24 東日本A地区
- 25 東日本B地区
- 26 東日本C地区
- 27 中部日本地区
- 28 西日本関西地区
- 29 西日本中国地区
- 30 西日本四国地区
- 31 西日本九州地区
- 32 北海道・青森地区

女子パブリック選手権

- 28 東日本地区
- 29 中部日本地区
- 30 西日本地区

ミッドアマ選手権

- 30 東日本A地区
- 31 東日本B地区
- 32 中部日本地区
- 33 西日本地区
- 34 北海道・青森地区

女子ミッドアマ選手権

- 32 東日本地区
- 33 中部日本地区
- 34 西日本地区

シニア選手権

- 34 東日本地区
- 35 中部日本地区
- 36 西日本地区

女子シニア選手権

- 35 東日本地区
- 36 中部日本地区
- 37 西日本地区

ミッドシニア選手権

- 37 東日本地区
- 38 中部日本地区
- 39 西日本地区

競技参加料、PGS会員登録料改定について



全日本パブリックアマチュアゴルフ選手権競技地区決勝



全日本女子パブリックアマチュアゴルフ選手権競技地区決勝

優勝カップ・トロフィー・メダル バッジ・オーダー品のトップメーカー

ヤマト徽章株式会社
〒113-0001 東京都文京区白山1-26-19
電話 (03) 3814-5171 (代表)
FAX (03) 3812-0502 (代表)
<http://www.yamato-kisho.co.jp/>
<http://www.sunleo.gr.jp/>

ホームページに掲載のデジタルカタログで、全商品をご覧頂けます。



since1922



サンレオ(SUNLEO)は、SUN=太陽 LEO=獅子のとても雄大で勇ましいイメージから名がつけられ、創設以来スポーツシーンや偉業を成し遂げた功労者の方々の歴史的瞬間を、日本を代表する表彰ブランドとして美しく輝かせてきました。

三野哲治

公益社団法人日本パブリックゴルフ協会会長（代表理事）



アマチュア競技の活性化に向けてさらなる挑戦を続けていきます

日頃より当協会の事業活動に対しご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。昨年は、4月の消費税率アップ後、個人消費が低迷し国内総生産（GDP）速報値もマイナス成長と景気回復の遅れが見えましたが、12月に入ると日経平均が約7年4ヵ月ぶりに1万7800円台を回復するというニュースもあり、国内景気の上昇に期待したい処です。

一方、ゴルフ界はと言いますと、レジヤール白書2014によると、平成25年のゴルフ人口は860万人で前回調査より70万人、8・9%増加しました。然しながら、60歳代がゴルフ人口で最も多い世代で、日本の人口ピラミッド以上の超高齢化が進んでいますので、20代から30代のゴルファー増加対策に取り組んでいく必要があります。そのような中、ゴルフ界13団体が協力し、昨年より20歳を対象とした「ゴルマジ！20」を立ち上げました。ゴルフを始める「きっかけ」になればと、全国200を超えるゴルフ場、練習場を無料で利用してもらっています。

当協会では、「きっかけ」作りに加え、競技会の開催やJGA/USGAハンディキャップインデックスの普及推進にも取り組んでおり、平成26年度

は、「パブリック・ミッドアマ・シニア選手権」の3大メイン競技で参加者数1万4千人、「アンダーハンディ競技」で1万8千人と、大変多くのアマチュアゴルファーの皆様にご支援いただきました。心より感謝致します。

協会事業の新たな試みとしましては、海外にも目を向けた事業展開として、昨年グアムにてパブリック選手権の予選を開催いたしました。本年もまたグアム大会の開催を予定しております。そして、ミッドアマ選手権に関しては、30歳以上となっていた年齢制限を25歳まで引き下げ本年度より実施いたします。

また、新ハンディキャップ制度の運用が昨年1月1日から開始となりましたが、日本で初めてとなるスロープレート競技「PGS東日本スロープレートアンダーハンディ選手権競技」を東日本地区加盟12コースで、ゴルフ・ウィーク最終日の8月7日に一斉開催いたしました。会員コース・賛助会員のご協力を得ながら、スクラッチ競技同様にアンダーハンディ競技の拡充を期したいと考えております。

最後にゴルフ界諸団体、並びにアマチュアゴルファーの皆様より、一層のご支援ご鞭撻を賜ります様お願い申し上げます。



軽!

+12.1*ヤード!

軽量化と振りやすさを追求したクラブ設計が、ヘッドスピードを引き上げ、年齢を感じさせない驚きの飛距離を生み出す。

振り切れるよろこび。飛ばせるよろこび。忘れていた、あの感覚をその手に。

BIG BERTHA BETA、誕生。



俺たちの、振れるBIG BERTHA

BIG BERTHA BETA

NEW

レディースモデルも、同時発売。

Callawaygolf.jp

※キャロウェイ調べ。すべてのゴルファーがこの飛距離アップを実現することを保証するものではありません。調査概要：キャロウェイ・ウェブメンバーから選出した男性55歳-69歳のアマチュアゴルファーによる試打テストを2日間実施。表示の数値は、試打に用意されたドライバーヘッド（ロフト角10.5°、カーボンシャフトRフレックス）で、ドライバーヘッドスピード（35~42m/s）等の条件が適合したゴルファーが試打した際に、LEGACYドライバーに比べて、BIG BERTHA BETAドライバーが伸ばした飛距離の平均値です。

Misuzu NARITA

独占インタビュー 成田美寿々

「どこまで大物!?」—— そんな言葉がこれほどマッチする女子プロゴルファーはいない。成田美寿々選手。2014年JLPGAツアーで日本人最高の賞金ランキング5位。それでも満足せず「目標に向かってやるべきことをしっかりやるだけ」という言葉と、それを日々実践する姿には、ツアー本格参戦3年目の22歳とは思えない、大物感が満ち溢れている。その成田選手がゴルファーとして初めて勝利したビッグ競技が「東日本女子パブリックアマチュアゴルフ選手権」であった。



夢はリオデジャネイロの オリンピックで金メダル

構成・日本ゴルフジャーナリスト協会
荒井 聡

Profile

成田美寿々(なりたみすず)1992年8月2日生まれ。父の勧めでゴルフを始めたのは、12歳の時。ただし、中学時代はソフトボール部に所属。本格的にゴルフに取り組みだしたのは、高校に入学してから。オリンピック出場と将来は体育の指導者を目指し日本体育大学体育学部に入學。しかし、在学中にプロに転向し中退。2011年、プロテスト最終テストで不合格(73位)となったが、ファイナルクオリファイングで26位に入り、2012年のトーナメント出場権を獲得。そして、その年、富士通レディースで初優勝。2013年、二度目のプロテストを2位で合格しLPGAの会員となる。2014年は優勝3回、シーズン終盤まで賞金女王争いに加わり、獲得賞金額95,233,560円で賞金ランキング、日本人最上位の5位。

2010年東日本女子パブリックアマチュア選手権競技をプレーオフで制した成田選手の喜びと無念

「パブリック選手権の思い出ですか。それはまず、酒井美紀プロですね」と、言い切る成田美寿々選手である。「酒井選手は、同年代で私よりもずっと前から実績を挙げている選手です。その酒井選手とのプレーオフに勝ち優勝できたことが、嬉しさを倍増してくれました」

度東日本女子パブリックアマチュアゴルフ選手権競技のことである。千葉よみうりで行われたこの競技、予選を勝ち上がった決勝大会に進出して来た成田選手と、シード権を持ついきなり決勝大会を戦う酒井選手、それに松森杏佳選手の3人が、72ストロークで並

び、プレーオフにもつれ込んだ。片やシード選手で、平成18年の同大会で優勝を経験している酒井選手。誰の目にも成田選手の分は悪い。しかし、酒井選手、松森選手を制して、成田選手が優勝を手にしたのである。「本当は、東日本だけでなく、全日本

女子パブリックも勝ちたかったのですが、それは叶わなかった。パブリック選手権競技と言え、東日本の優勝の嬉しさと、全日本に勝てなかった悔しさが、私の中の思い出ですね。ちょっと複雑かな。もうプロゴルファーですから、私はアマチュアゴルファーの大会には出場できないので、全日本女子パブリックのリベンジは不可能ですからね」と笑う。

た。子供時代の私のゴルフを広げてくれたのが、パブリック選手権です」と成田選手は言い切る。「もちろん、決勝大会に進めば、当時の私たちのように、競技ゴルフに一生懸命取り組んでいる方が多いですが、予選にはいろいろなタイプのゴルファーが参加されています。普段は、楽しいゴルフを満喫されている愛好家の方でも、言わば、正式な競技を経験することができなのが、パブリック選手権の魅力だと思います。しかも、それほど敷居(出場資格)は高くありません。中には、競技の緊張感のあまり、いつもより、たくさん叩いてしまう方もいらっしゃると思いますが、それも振り返れば良い思い出や経験になると思います。毎年参加することができて、しかも気軽に、パブリック選手権でのスコアを目標にされて、日々のゴルフを楽しまれている方もいます。多くのアマチュアゴルファーの方が、予選であ

ってもパブリック選手権のような競技を経験していただくと、プロゴルファーとして、とても嬉しいですね。年に1度、もっと多くの方にツアープロ気分を味わって欲しいです」と成田選手は言う。

大の夢、目標となっています。だから2016年のリオデジャネイロオリンピックでゴルフが正式種目に決定したことは、本当に嬉しいことです。チャンスはいただいた。後は、私が出場して、金メダルを取ることに専念すればいい。そのために、今何をしたら良いかを考え、ゴルフに取り組んでいます。まずは、日本代表に選ばれ、そして世界中から集まる選手に勝つ。



一般のアマチュアゴルファーの皆さんが、気軽に楽しめる正式競技がパブリック選手権

「パブリック選手権競技は、私のゴルフを育ててくれたと感謝しています。何故なら、大人の強い選手と同じ舞台で競技することのできる、数少ない大会だからです。中学生、高校生時代の多くの大会は、年齢の近い学生同士の競技です。それはそれで目標になったり、練習の糧になったりしましたが、年齢の全く違う大人の方とプレーする緊張感や、これまで見たこともない技術や攻め方が目の当りにできま

しかし、このインタビュー時には、まだまだ賞金女王のタイトルに手が届く位置で、2014年シーズンの自分に課した目標「賞金ランキング2位以内を確保して、女子のマスターズと言われるクラフト・ナビスコ選手権の出場資格を取ることを強く語っていた。常に物静かな語り口だが、言葉の端々に垣間見えるその決意の強烈さを思えば、それが達成されなくなった恐らく一時は、いや一瞬だったかもしれないが、悔しさの海に沈んでいたことに違いない。そして、その次の瞬間、2015年シーズンに向けて、新たな目標とプランを立て、始動したのは間違いないことであろう。

「私は子供の頃から、スポーツ選手に憧れていました。そして、オリンピックで金メダルを取ることが、今でも最

2014年シーズン、日本人最高の賞金ランキング5位で悔しがる逸材は、パブリック選手権出身の22歳



「私は子供の頃から、スポーツ選手に憧れていました。そして、オリンピックで金メダルを取ることが、今でも最

平成22年度 東日本女子パブリックアマチュアゴルフ選手権競技地区決勝結果

順位	氏名	予選出場コース名	OUT	IN	GR
1	成田美寿々	千葉よみうり	35	37	72
2T	酒井美紀	シード・那須野ヶ原	38	34	72
2T	松森杏佳	昭和の森	36	36	72
※プレーオフによる					
4	石山 鼓都	千葉よみうり	39	34	73
5T	中村 美枝	那須野ヶ原	37	37	74
5T	木戸 侑来	昭和の森	36	38	74
5T	青木 瀬令奈	千葉よみうり	35	39	74
8T	押尾 沙樹	昭和の森	40	35	75
8T	佐久間 綾女	ウインザーパーク	39	36	75
8T	後藤 恵	シード・市原・柿の木台	39	36	75

写真:和田 利光
取材協力:スタンレーレディスゴルフトーナメント

2014 すべてのマチュアゴルファーが挑戦できる オープン競技の最高峰 全日本パブリック ゴルフ選手権 競技結果

毎年、感動のドラマが繰り広げられる全日本大会。この日のために1年間努力したそれぞれの選手たち。リベンジあり、念願の優勝ありと歓喜の最終パットまでをレポート。



- 全日本パブリックアマチュアゴルフ選手権競技 10
- 全日本女子パブリックアマチュアゴルフ選手権競技 12
- 全日本パブリックミッドアマチュアゴルフ選手権競技(男子部門) 14
- 全日本パブリックミッドアマチュアゴルフ選手権競技(女子部門) 16
- 全日本シニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技 18
- 全日本女子シニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技 20
- 全日本ミッドシニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技 21

そのためには、日本での活躍と、世界の舞台で通用する力が必要なんです。」と成田選手は目を輝かせて言う。

明確な目標に向かって、今やるべきことを日々実践する。そのひとつが「肺が潰れる」くらいのフィジカルの強化

成田選手の目標はすこぶる明確である。そして、目標達成のための「実行」のひとつが、2014年シーズン前に行ったフィジカルトレーニングである。「肺が潰れるかと思った」(成田選手)という、プロ野球選手と一緒の走り込みにウエイトトレーニング。「恐らく他の女子選手で、このトレーニングをこなせる選手は誰もいないと思います」と成田選手のコーチを務める井上透プロが舌を巻くほどのハードトレーニング



- 成田美寿々優勝の軌跡**
- 2010年 東日本女子パブリックアマチュアゴルフ選手権 優勝
 - 2010年 千葉県ジュニアゴルフ選手権 優勝
 - 2010年 関東ジュニアゴルフ選手権 優勝
 - 2011年 ファイナルQT 26位
 - 2012年 富士通レディース 優勝
 - 2013年 プロテスト単独2位にて合格
 - 2013年 NEC軽井沢72ゴルフ 優勝
 - 2014年 ワールドレディスサロンパスカップ 優勝
 - 2014年 ヨネックスレディス 優勝
 - 2014年 サマンサタバサレディス 優勝

パブリック選手権の予選は、敷居が高くはないアマチュアのための正式競技会。多くの方にツアープロ気分を味わって欲しいです。

「2014年シーズンのオフは、誰にも負けないくらい練習しました。だから今は、すべてに自信を持っています。もちろん、今より高めなくてはならないことはたくさんありますが、必ず成し遂げられると思っています」と成田選手は、断言した。

その結果の賞金ランキング5位。もちろん、一番納得していないのは成田選手自身であろう。しかし、目標はオリンピックでの金メダル。そのため努力なら惜しむことはない成田選手。1992年千葉県生まれの22歳は、一切の妥協を許さず、目標に向かって走り続けている。

パブリック選手権から、また、新たな逸材が、一人、確実に巨大な頭角を現し始めたことは、誰も否定できない。

パブリックアマチュアゴルフ選手権 Guam 大会 Devin Hua選手とNalathai Vongjalorn選手が初優勝



Guamのレオパレスリゾートカントリークラブで10月12日に行われた第1回Guam大会は、男子の部Devin Hua選手、女子の部はNalathai Vongjalorn選手が優勝した。

全日本パブリックアマチュアゴルフ選手権競技 (Guam)

開催日 10月12日(日)
開催コース レオパレスリゾートCC
6335Y, P72
参加人数 26名

順位	氏名	OUT	IN	TOTAL
1	Devin Hua	33	34	67
2	Louie Sunga	33	34	67
3	Daryl Poe	35	36	71
4T	Mike Castro	38	34	72
4T	Naathan Zhao	34	38	72
6T	Brandon Aoki	40	37	77
6T	Brent Salas	40	37	77
8T	Mike Chung	40	38	78
8T	John Anthony Muna	41	37	78
10	Brayden Sprouse	39	40	79
11	Vic Borja	41	40	81
12T	Sam Teker	41	41	82
12T	Robert Manalo	41	41	82
14	Sammy Sprouse	41	42	83
15	Joe Schneider	42	42	84
16T	Don Clark	41	45	86
16T	Nalapon Vongjalorn	42	44	86
16T	Ed Castro	42	44	86
19	Masaki Ujiie	44	44	88
20	Randy Sager	44	45	89
21	Frank Romero	45	49	94
22	Amier Younis	50	46	96
23T	Gabriel Ko	52	45	97
23T	Khaim Vongjalorn	49	48	97
25	George Smith	57	56	113
NR	Tom Tarpley	—	—	—

全日本女子パブリックアマチュアゴルフ選手権競技 (Guam)

開催日 10月12日(日)
開催コース レオパレスリゾートCC
5107Y, P72
参加人数 14名

順位	氏名	OUT	IN	TOTAL
1	Nalathai Vongjalorn	37	36	73
2	Rachel Peterson	38	39	77
3T	Laling Couch	41	40	81
3T	Kyong Stirling	40	41	81
5	Tai Maulupe	41	42	83
6T	Rose Tarpley	41	43	84
6T	Emiri Sunga	45	39	84
8	Rose Cunliffe	43	43	86
9	Pearl Magallanes	44	44	88
10	Aiga Payne	44	45	89
11	Hiroimi Takasu	48	43	91
12	Eva Cabrera	45	48	93
13T	Mary Rhodes	47	55	102
13T	Sirena Cassidy	48	54	102

ハイレベルだった第1回大会 上位3選手が全日本大会に進出

Guamらしい好天の下で行われた第1回大会。男子は26選手、女子は14選手が出場して、文字通りの熱戦が繰り広げられた。その結果、男子の部はHua選手とLouie Sunga選手が67という好スコアをマーク。プレーオフの末にHua選手が栄えある第1回大会を制した。3位には、



71のDaryl Poe選手が入った。女子の部は73で回ったVongjalorn選手が2位のRachel Peterson選手に4打差、Laling Couch選手に8打差をつけて優勝した。それぞれの部上位3選手が、平成27年度全日本大会の出場権を得た。



谷本伊知郎選手がプレーオフを制して2連覇を達成!

茨城県のオールドオーチャードゴルフクラブで9月17日、18日に行われた第8回全日本パブリックミッドアマチュアゴルフ選手権競技の男子部門は、初日首位に立った昨年度のチャンピオン谷本伊知郎選手(41歳)が2日目は菊地展弘選手(38歳)に並ばれたものの、プレーオフ1ホール目でバーディを奪って2連覇を成し遂げた。3位には2日目のベストスコア71を記録した増野逸実選手(35歳)が入った。



全日本ミッド優勝者・谷本伊知郎選手とプレーオフで敗れた菊地展弘選手



平成25年度第7回大会に続いて2年連続優勝を果たした谷本伊知郎選手の正確無比なスウィング



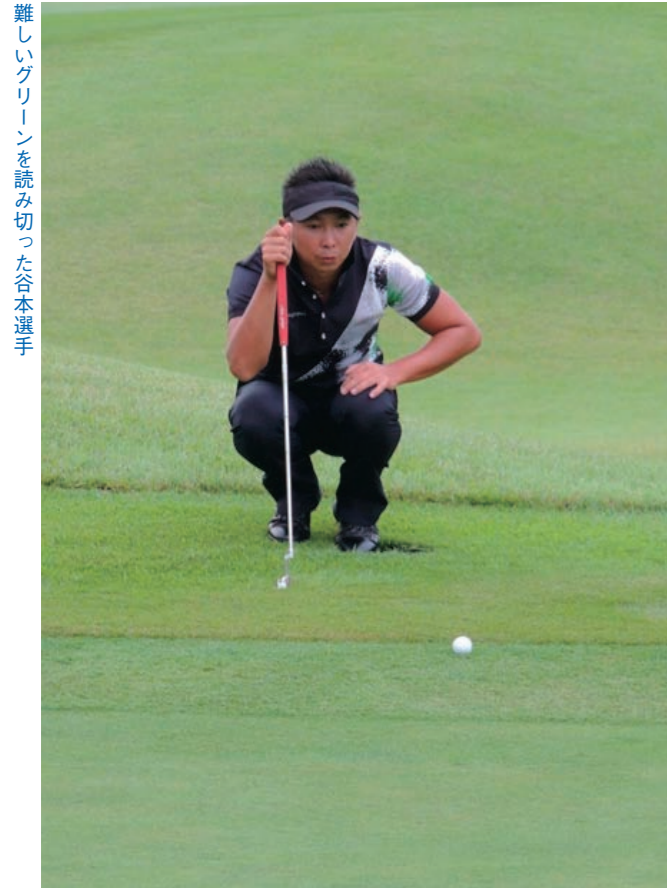
左から4位の西川選手、2位の菊地選手、優勝の谷本選手、3位の増野選手、5位の渡邊選手

ンをオーバーさせるのとグリーンが速いため3パットの恐れがあるのでピンの手前につけたい」と考えて打った菊地選手の第3打がグリーン手前のエッジに僅か届かず、下の段まで転がり落ちてしまった。一方の谷本選手はピン左上2メートルにオン。距離は短い、ラインは決してやさしくない。「同じことは繰り返さない」菊地選手の第4打はピンを4メートルほどオーバー。パーパットは入らず、谷本選手のバット次第となった。慎重にあらゆる方向からラインを読んだ谷本選

第8回 全日本パブリックミッドアマチュアゴルフ選手権競技(男子部門)

開催日：9月17日(水)～18日(木) 開催コース：オールドオーチャードゴルフクラブ 7041Y、P72 参加人数：112名

1	谷本伊知郎	シード・高松	70	76	146	56T	谷本 修二	名古屋広幡	83	80	163
2	菊地展弘	鹿島南藤科	72	74	146	56T	堀井 宣弘	市原	82	81	163
3	増野逸実	森林公園	76	71	147	56T	坂井 嘉孝	八千代	82	81	163
4	西川幸一郎	昭和の森	73	75	148	56T	片岡 茂樹	グランシエロ	82	81	163
5	渡邊哲也	妻沼	74	75	149	56T	内山 幹治	八千代	80	83	163
6T	中田 哲也	シード・ウィンザーパーク	77	73	150	56T	名須川 勝幸	紫香園国際	79	84	163
6T	田中 智喜	姫路シーサイド	77	73	150	56T	羽吉 正勝	名古屋港	78	85	163
6T	木下 輝洋	うぐいすの森水戸	73	77	150	64T	伊藤 精治	うぐいすの森水戸	87	77	164
9T	木下 陽介	柴あやめ36	78	74	152	64T	野鳥 賢次	昭和の森	83	81	164
9T	富田 陽介	オールドオーチャード	77	75	152	64T	下野 修照	柴あやめ36	83	81	164
9T	太田 大士	名古屋港	77	75	152	64T	塚山 隆二	千葉よみうり	82	82	164
9T	来山 健一	名古屋港	76	76	152	64T	市川 裕司	富士見高原	79	85	164
9T	三浦 徳光	千葉よみうり	74	78	152	69T	染谷 栄豆	下館	86	79	165
14T	宮本 正大	マスターズ	76	77	153	69T	松川 市原	市原・柿の木台	85	80	165
14T	渡辺 顕展	大森生	76	77	153	69T	白井 隆志	妻沼	85	80	165
14T	深川 幸夫	よみうり	76	77	153	72T	長江 幸夫	昭和の森	88	78	166
14T	片山 貴由	オールドオーチャード	75	78	153	72T	加藤 剛士	八千代	87	79	166
14T	松本 英司	名古屋広幡	75	78	153	72T	敦士 剛士	オールドオーチャード	83	83	166
19T	清本 宗久	グランシエロ	79	75	154	75	岩崎 潤一	マスターズ	87	80	167
19T	ティン・ロジャース	八千代	78	76	154	76	谷 昭和	昭和の森	82	86	168
19T	岡野 智弘	柴あやめ36	78	76	154	77T	平松 正寛	名古屋港	90	79	169
19T	湯沢 秀和	小杉	76	78	154	77T	大和 久修	鹿島南藤科	88	81	169
23T	平野 忠則	オールドオーチャード	79	76	155	77T	坂本 隆	名古屋港	85	84	169
23T	林 伸行	グランオーク	79	76	155	77T	高橋 寛之	富士グリーンヒル	82	87	169
23T	真崎 良博	シード・柴あやめ36	78	77	155	81T	健司 明	市原・柿の木台	89	81	170
23T	田中 玄順	シード・昭和の森	77	78	155	81T	伊藤 明	名古屋広幡	85	85	170
23T	池田 清里	清里	76	79	155	81T	辻本 圭一	ムーンレイク鶴舞	85	85	170
23T	藤本 大和	八千代	75	80	155	81T	鶴岡 卓	富士グリーンヒル	84	86	170
29T	矢吹 文雄	下館	80	76	156	81T	依田 芳文	清里	82	88	170
29T	山崎 博文	アオノ	77	79	156	86	西川 清数	森林公園	90	81	171
29T	竹内 貴広	古河	75	81	156	87	清克 清数	ウィンザーパーク	85	87	172
32T	竹下 正彦	那須野ヶ原	80	77	157	88T	有川 誠	富士・山中湖	89	84	173
32T	片瀬 博幸	篠ノ井	80	77	157	88T	柏木 和樹	富士グリーンヒル	88	85	173
32T	松永 武士	オールドオーチャード	79	78	157	88T	小嵐 徹	名古屋広幡	87	86	173
32T	尾尻 真栄	マーメイド福山	77	80	157	88T	間庭 一樹	京阪	86	87	173
36T	米田 真次	米子	82	76	158	88T	那須野ヶ原 勇人	那須野ヶ原	84	89	173
36T	河本 真次	正眼寺	77	81	158	93T	大柳 羽	森林公園	89	85	174
38T	山本 充	千葉よみうり	83	76	159	93T	柳原 洋一	テイスター	86	88	174
38T	斉藤 清和	富士グリーンヒル	82	77	159	96	福留 洋一	トム・ワトソン	91	84	175
38T	西尾 武樹	アオノ	82	77	159	96	浦谷 正夫	八千代	91	86	177
41T	土明 周史	ベアズパウジャパン	83	77	160	97	福村 幸久	ダイナスティ	91	84	178
41T	小野 周史	シード・富士・山中湖	82	78	160	98	岡村 泰来	富士グリーンヒル	94	80	181
41T	西谷 憲之	古河	82	78	160	NR	岡村 敏樹	オールドオーチャード	80	—	—
41T	近藤 敏之	名古屋広幡	81	79	160	NR	山小 敏樹	シード・小杉	72	—	—
41T	坂本 達也	瀬板の森	80	80	160	失格	角田 卓也	昭和の森	76	—	—
41T	柴田 雅好	名古屋港	80	80	160	失格	秋葉 健	市原	80	—	—
41T	高橋 岳男	名古屋港	80	80	160	失格	小川 文平	古河	81	—	—
41T	河野 真一	オールドオーチャード	79	81	160	欠場	薄井 嘉宏	ウィンザーパーク	83	—	—
41T	大原 淳	鹿島南藤科	77	83	160	欠場	渡辺 森	ウィンザーパーク	83	—	—
41T	木村 裕治	シード・オールドオーチャード	76	84	160	欠場	渡辺 森	瀬板の森	83	—	—
51T	熊谷 勇夫	千葉よみうり	83	78	161	欠場	渡辺 大澤	市原・柿の木台	89	—	—
51T	三澤 康弘	鹿島南藤科	78	83	161	欠場	大澤 誠司	名古屋港	89	—	—
53T	土田 晃成	昭和の森	86	76	162	NR	和行 浩康	オールドオーチャード	—	—	—
53T	堀切 宗弘	八千代	85	77	162	NR	横山 芳和	シード・グランシエロ	—	—	—
53T	進藤 祥史	八千代	84	78	162	失格	占部 芳和	シード・瀬板の森	—	—	—
56T	吉田 一郎	昭和の森	85	78	163	失格	小池 悦也	名古屋広幡	—	—	—



難しいグリーンを読み切った谷本選手



ジム・ファジオ設計のコースに多くの選手が手こずった

手のバーディパットはゆっくり転がりながら、カップに沈んだ。菊地選手のまさかのボギーで二人が通算2オーバーで並んでプレーオフとなった。「さあ、行きましょう」起死回生のチャンスを得た谷本選手の掛け声で向かった18番からのプレーオフ。まず菊地選手がフェアウェイにティショット。続く谷本選手のティショットは菊地選手を約50ヤードアウトドライブ。菊地選手の第2打はピンまで約100ヤード地点へ。「ティショットとともに本日の最高ショットが続いた」谷本選手の第2打はグリーン奥のカラーへ。菊地選手の第3打はピンの左上3メートルにオン。谷本選手はパターで第3打をピッタリ寄せてバーディ。菊地選手のバーディパットが外れて、谷本選手の2連覇が決まった。

鈴木智子選手が後輩の守谷みのり選手をプレーオフで下して3回目の優勝!

過去2回優勝の実力を発揮した鈴木智子選手



茨城県の OLDオーチャードゴルフクラブで9月17日、18日に行われた第8回全日本パブリックミッドアマチュアゴルフ選手権の女子部門は、鈴木智子選手(44歳)と守谷みのり選手(39歳)が14オーバー 158ストロークでホールアウト。プレーオフ最初のホールで鈴木選手がバーディを取り、第3回大会、第6回大会に次ぐ3勝目を挙げた。3位には1打差で山下ユナ選手(43歳)選手が入った。

コースマネージメント力を発揮して
バーディ奪取で締めくくる

本大会過去2回優勝している実力者の鈴木選手が土壇場で後輩に、「これがチャンピオンのゴルフよ」といわんばかりの攻め方を見せつけて優勝をものにした。

18番パー5を使ってのプレーオフ1ホール目。守谷選手がドライブバシヨットを右のフェアウェイバンカーに入れたのに対し、鈴木選手は「ドライブパーで左に引っ掛けると池に入っちゃうので」3番ウッドでフェアウェイを捉え、第2打も「ウッドを使っても届く距離ではない」と7番アイアンを手にしてキッチリ残り100ヤードのフェアウェイ中央へ。守谷選手もほぼ同距離のフェアウェイの右へ打ち出し、ピンの左上4メートルに3オン。「ピッチングウェッジでしつかりの距離」だった鈴木選手の第3打はピンをかすめて約2メートルのところへ。

勝負の行方はグリーン上となったが、「入れ!」との叫びとともに転がった守谷選手のボールはカップの手前で切れてパ。多くの出場者がグリーン奥から見つ



セントレア空港から練習ラウンドも一緒に二人のプレーオフとなった

第8回 全日本パブリックミッドアマチュアゴルフ選手権競技(女子部門)

開催日: 9月17日(水)~18日(木)
開催コース: OLDオーチャードゴルフクラブ 6035Y、P72
参加人数: 31名

1	鈴木 智子	名古屋広幡	74	84	158
2	守谷みのり	正眼寺	83	75	158
3	山下 ユナ	ウィンザーパーク	80	79	159
4T	白井 晶子	コート・ペール徳島	81	79	160
4T	中川麻美子	名古屋港	77	83	160
4T	高田 真希	三井の森軽井沢	75	85	160
7T	長野美代子	シード・市原・柿の木台	83	78	161
7T	藤永 記代	グランドオーク	79	82	161
7T	鈴木 千鶴	ハーモニーヒルズ	78	83	161
10	庄司 春美	富士グリーンヒル	81	81	162
11	牧草真由美	シード・ダンロップ	81	84	165
12	田澤 美保	八千代	81	87	168
13T	安東 二子	市原・柿の木台	86	83	169
13T	清水かおり	八千代	82	87	169
15T	栗原 美紀	昭和の森	87	83	170
15T	戴 逸梅	八千代	85	85	170
17T	上村ひろみ	シード・OLDオーチャード	90	81	171
17T	加藤由紀子	八千代	83	88	171
17T	岩崎 未果	森林公園	83	88	171
20T	今井 美紀	朝霞	92	80	172
20T	鈴木 友子	OLDオーチャード	91	81	172
20T	黒木 蘭	八千代	86	86	172
23	嘉田 チカ	名古屋港	86	88	174
24T	西村 治美	富士・山中湖	91	84	175
24T	高田 有加	ダンロップ	88	87	175
24T	有延さ	よみうり	86	89	175
27	中村 美和	紫あやめ36	85	91	176
28T	小玉 陽子	紫あやめ36	91	89	180
28T	高橋 美絵	紫あやめ36	90	90	180
30	山岸 美喜	森林公園	91	91	182
31	馬場 由美	八千代	90	93	183



プレーオフでバーディパットのラインを読む守谷選手。結果は惜しくも外れた

める中、鈴木選手のバーディパットは吸い込まれるようにカップに沈んだ。
実は、二人は中部ゴルフ連盟の研修会での先輩後輩の仲。一緒に名古屋から来て練習ラウンドも一緒だった。初日2オーバーの74で首位の鈴木選手が2日目のスタート前、「今日は68で回ってこない」と私に追いつけないわよ」と初日83の守谷選手を激励。それに応じて守谷選手は68ではないが2日目のベストスコア74で回り、「今日はパットが全然ダメ。最終ホールで4パットしたり、全部で44パットと最悪」の鈴木選手が84を叩いたために2人のプレーオフとなり、先輩の鈴木選手が絶妙のコースマネージメントで優勝を飾った。

中部ゴルフ連盟研修会の先輩・鈴木選手が優勝。後輩の守谷選手も大健闘した

松本英司選手が冷静なプレーで、3打差を逆転して2年連続優勝

実力者ならではのマネージメント力で連覇

台風の影響で1日競技となった前年はスタートの4ホールで4連続バーディーというロケットスタートを決めて初優勝を飾った松本選手が、今大会初日はまったく正反対の1番ボギー、2番ボギー、3番ダブルボギー、4番ボギーという最悪のスタートとなった。普通の選手なら投げやりになってもおかしくないが、松本選手は全然諦めてはいなかった。

「前の週は中部ミッドアマの決勝があり、土日は地元でお祭りがありました。しかもこちらに来る予定の飛行機は台風の影響で飛ばず、セントレア空港で待ち続けてやっと前夜の10時半に宮崎に入りました。もちろん練習ラウンドはできずにつつけ本番です。朝は体がパンパンに張



的確なコースマネージメントで逆転2連覇を達成した松本選手



第20回全日本シニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技は10月15日、16日に宮崎県のトム・ワトソンゴルフコースで行われ、前年優勝の松本英司選手（64歳）が初日3打差のビハインドを2日目に逆転して2連覇を達成。2位には三河順一選手（64歳）が入り、初日トップの柳本常雄選手（58歳）は3位タイに終わった。

っていて、練習場でボールを打つこともなく1番ティに向かいました。いきなり4ホールでの5オーバーにはちよつとだけ焦りましたが、全部ティショットがブッシュだったので、ガチガチの体に原因があることは分かっていました。そこで、たまたま5番ホールで前が詰まっていたので、ストレッチと素振りを繰り返して体をほぐしました」

その結果、5番からは2バーディー3ボギーで、初日は6オーバーの78で踏みとどまった。トップの柳本選手のスコアは75だから、ディフェンディングチャンピオンとしては十分な射程距離だ。トム・ワトソンゴルフコースは初めて回るコースだが、かつて若い頃に日本を代表するゴルフ場設計家の井上誠一氏が地元の名古屋でゴルフ場を造る際に現場で設計の妙を学んだ経験があるだけに、初めて回るコースでも設計家がどのような罫を仕掛けるかを知っていた。

「このコースはさすがにトム・ワトソンが設計して本人もお気に入りのコースというだけあって、実に絶妙なデザインになっていて、練習場でもボールを打つこともなく1番ティに向かいました。いきなり4ホールでの5オーバーにはちよつとだけ焦りましたが、全部ティショットがブッシュだったので、ガチガチの体に原因があることは分かっていました。そこで、たまたま5番ホールで前が詰まっていたので、ストレッチと素振りを繰り返して体をほぐしました」



前日までの台風の影響で難易度を増したトムワトソンゴルフコース

の37。1組前で回る初日80で3位タイだった三河選手が35で回って3人が並んだが、「何ホールかボギーが出るのは覚悟していたので、ボギーを叩いても慌てず無理してバーディーを狙わず、初志貫徹で安全確実なマネージメントを通すように

しました」という松本選手が、インを2オーバー38にまとめ、39だった三河選手、40だった柳本選手をそれぞれ1打差、2打差つけて2連覇を成し遂げた。僅差の勝負ながら、松本選手の冷静なマネージメント力が光った競技だった。

第20回 全日本シニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技

開催日：10月15日(水)～16日(木)
開催コース：トム・ワトソンゴルフコース 6665Y、P72
参加人数：61名

1	松本英司	78	75	153
2	三河順一	80	74	154
3	柳本常雄	80	75	155
4	マリアン	81	80	159
5	瀨川真樹	81	81	162
6T	真島小江	81	80	162
8T	増元正	85	80	164
8T	岩田正	84	80	164
11	岩田正	80	84	164
12	金藤丸	83	82	165
13T	丸橋孝	81	85	166
13T	丸橋孝	82	85	167
15	寺形山	84	84	168
16T	山形山	91	78	169
16T	鈴木中	90	79	169
16T	中村中	84	85	169
16T	伊藤長	80	89	169
21T	長保五	90	80	170
21T	鹿保五	85	85	170
23	五味松	81	90	171
24T	松青金	89	83	172
24T	青木金	87	85	172
24T	田島光	87	85	172
28T	大川阿	85	87	173
28T	大川阿	86	87	173
28T	阿部中	86	87	173
28T	中島松	85	88	173
28T	相原相	84	89	173
28T	白原相	85	83	174
34T	杉浦正	89	85	174
34T	瀧中	88	87	175
36T	中玉	85	90	175
36T	村置	88	87	175
38T	平原正	89	87	176
38T	藤本小	87	89	176
38T	小松久	86	90	176
42T	小奥徳	94	83	177
42T	奥世徳	88	89	177
42T	徳世徳	80	97	177
42T	齊藤信	88	97	177
45T	金岡伸	92	86	178
45T	黒田信	88	90	178
45T	黒田信	87	91	178
45T	黒田信	87	91	178
49T	加藤直	88	91	179
49T	加藤直	87	92	179
49T	木村博	85	94	179
49T	松尾大	83	96	179
53	平重平	86	95	181
54T	高尾保	92	90	182
54T	高尾保	87	95	182
56T	大熊章	92	91	183
56T	大熊章	91	92	183
58T	達山小	96	88	184
58T	達山小	94	90	184
58T	大野木	90	94	184
58T	大野木	91		
欠場	水野	91		

左から4位のアブラハム選手、2位の三河選手、優勝の松本選手、3位の柳本選手、5位の瀨川選手



前年優勝者の小田倉富士子選手が 2位に8打差つけて2連覇達成

難しいコンディションの中、
唯一人2日間とも70台

「試合前に台風が来たために練習ラウンドができなかったのでどうなるか不安でしたが、何年か前に2、3回ラウンドしたことがあるので、その時のことを思い出しながらプレーしました」というのは優勝した小田倉選手。

そして「決勝大会に備えて十分練習してきたことで、ドライバーショットを始めとしてボールがあまり曲がらずに自分でも驚くほどの良いスコアを2日間とも出せたのだと思います。ちよつとも曲げるとこのコースでは簡単にボギーやダブルボギーを叩いてしまいますから、とにかく林には入れないように注意しながらショットしました。グリーンも難しいですし、バーディなんて絶対に取れないような難しいコースでした」

小田倉選手はショットが2日間とも良かったことを勝因として述べた。初日から大半の選手が幾つかのダブルボギーを叩いて苦戦する中、小田倉選手だけはボギーを6個だけにどめ、6オーバー178でホールアウトした。上がってみると、菊川選手と今井啓子選手（62歳）に6打の大差がついていた。

宮崎県のトム・ワトソンゴルフコースで10月15日、16日行われた第20回全日本女子シニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技は、小田倉富士子選手（53歳）が2日間157ストロークで、2連覇を達成した。8打差の2位に菊川由美子選手（54歳）、15打差の3位に大畑日香選手（67歳）が入った。



左から2位の菊川選手、優勝の小田倉選手、3位の大畑選手

第20回 全日本女子シニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技

開催日：10月15日（水）～16日（木）
開催コース：トム・ワトソンゴルフコース 5923Y、P72
参加人数：25名

1	小田倉富士子	78	79	157
2	菊川由美子	84	81	165
3	大畑日香	88	84	172
4T	今井啓子	91	91	175
4T	藤原由美	84	91	175
7T	伊藤美智子	93	84	177
7T	伊藤美智子	92	85	177
7T	伊藤美智子	91	86	177
7T	伊藤美智子	90	87	177
7T	伊藤美智子	89	88	177
7T	伊藤美智子	88	90	178
12	伊藤美智子	90	89	179
13	伊藤美智子	90	90	180
14	伊藤美智子	91	90	181
15	伊藤美智子	91	83	183
16	伊藤美智子	100	88	184
17	伊藤美智子	96	88	185
18	伊藤美智子	94	91	186
19	伊藤美智子	97	89	187
20	伊藤美智子	93	94	187
21T	伊藤美智子	102	91	193
23	伊藤美智子	98	95	197
24	伊藤美智子	98	99	197
25	伊藤美智子	102	101	203
	伊藤美智子	113	103	216

2日目は前半の16番パー5で2日間通して唯一のダブルボギーを叩いたが、後半の2番パー3で初バーディを奪うなどイン40、アウト39の79。この日も唯一人70台をマークして、2位の菊川選手に8打差、3位の大畑選手に15打差をつける圧勝だった。

「シード選手として宮崎まで来て、本当に良かったです。難しいコンディションの中で、3パットを何回かしながらも優勝できたのは嬉しいですね。2連覇のことはゴルフ仲間にも言われましたが、そういうことを考えるとプレッシャーになるので考えないようにしてきました」と話す。そして「来年も3連覇を意識せずには臨みたいと思います。この大会はいつも和気あいあいと楽しくラウンドしながら競技ができるので、来年も元気で出場できるようにしたいと思います。もちろん練習も一所懸命します」

2連覇を成し遂げた達成感に満足せず、2015年大会に向けても意欲を見せた小田倉選手。来年の3連覇に期待がかかる。

平成26年度第11回全日本ミッドシニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技

6ホールのプレーオフの末、菅原健選手が初優勝

第11回全日本ミッドシニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技は宮崎県のトム・ワトソンゴルフコースで10月15日、16日に開催。初日13位タイの菅原健選手（67歳）と初日17位タイの矢吹元良選手（68歳）が2日目に追い上げて通算14オーバー1158ストロークで並んでプレーオフに突入。6ホールに及びプレーオフの末に菅原選手が矢吹選手を振り切って初優勝した。3位には、五十嵐秀夫選手（69歳）と吉岡博一選手（67歳）が1打差で入った。

「諦めずに戦った結果」 13位タイからの大逆転優勝

「プレーオフになった時点で、2位までは自動的にJGA主催の『日本ミッドシニア選手権』に出場できることを知っていたので、勝っても負けてもどっちでもいいや」との想いでプレーオフに臨みました。その気軽な気持ちで私に勝利をもたらしてくれたのではないのでしょうか」

を語った菅原選手。しかし、プレーオフに至るまでの過程は厳しいものだった。初日は1バーディ、2ボギー、4ダブルボギーの81。トップのスコアは77で5選手。79の4位タイに2選手、80の8位タイに5選手、菅原選手の81は13位タイで4選手いた。2日間競技で13位というのはかなり厳しい感じがする。当の本人もそう思っていたが、ゴルフ仲間の一人の一言が菅原選手の心を奮い立たせた。「13位タイといっても、たったの4打差じゃないか。ゴルフは何が起ころか分からないか知っているら。頑張ればまだチャンスはあるぞ」と言われたのだ。

その一言で、「今日は思い切りやるぞ」と最終組の3組前から2日目に臨んだ菅原選手。前半のインを1オーバー37で回したら、上位陣の大半の選手がスコアを軒並み崩していく。ハーフチェックでは、初日首位の一人だった吉岡選手が通算9オーバーでトップ、菅原選手はやはり初日トップの一人だった小池稔選手（67歳）とともに1打差の2位となっていた。さらに俄然やる気となったが、そうは行かないのがゴルフだった。後半のアウトに入るとショットが曲がりだし、3番、4番6番、8番でボギー。後半は40で、この日79。通算14オーバーで競技を終えたところ、菅原選手の1組前で回っていた矢吹選手が82、76の同スコアで上がっていた。

結局、後続の組で二人のスコアを上回る選手は出てこずプレーオフとなり、6ホールのパー4で矢吹選手が2オン3パットのボギーとしたのに対し、菅原選手が3オン1パットのパー4で切り抜けて初優勝を決めた。



左から2位の矢吹選手、優勝の菅原選手、3位の五十嵐選手



第11回 全日本ミッドシニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技

開催日：10月15日（水）～16日（木）
開催コース：トム・ワトソンゴルフコース 6376Y、P72
参加人数：51名

1	菅原健	81	77	158
2T	矢吹元良	82	76	158
3T	五十嵐秀夫	82	77	159
5T	吉岡博一	82	78	160
5T	青森光	80	80	160
7	藤原由美	77	84	161
8T	佐藤和男	80	82	162
8T	荒木正光	77	85	162
8T	小池稔	77	85	162
11	柴田淳志	83	80	163
12T	遠藤斌	84	80	164
12T	江崎博文	84	80	164
12T	齋藤光	83	81	164
12T	河村山	82	82	164
12T	西山鏡	80	84	164
12T	厚見信一	80	84	164
12T	熊倉将	79	85	164
19T	佐藤勝美	81	84	165
19T	渡辺修二	79	86	165
19T	堀岡孝一	77	88	165
22T	井口健	84	82	166
22T	杉本敏信	84	82	166
24T	宮本信行	84	83	167
24T	出竹勇	82	85	167
24T	水野恵治	81	86	167
24T	小野進	80	87	167
28T	直井勝則	85	83	168
28T	澤村治道	85	83	168
28T	沖和人	82	86	168
28T	草野俊進	81	87	168
32	野安武庫	90	79	169
33T	佐合享二	89	81	170
33T	高木清美	87	83	170
33T	今藤秀三	84	86	170
36	福島秀忠	87	84	171
37T	中嶋雄浩	86	86	172
39T	遠藤友一	83	89	172
39T	西藤進	91	83	174
39T	伊藤正幸	91	83	174
39T	伊藤恒輝	86	88	174
43T	石田正明	86	84	175
43T	柴田多朗	86	84	175
45T	有田保明	90	86	176
45T	関原知敬	88	88	176
45T	山川山	87	89	176
49	杉浦次郎	87	89	177
欠場	三塚梅紀	94	83	177
NR	小田正治	88	—	—

今年こそファイナルへ。今年もまたファイナルへ。全日本への最終関門

2014パブリックゴルフ選手権地区決勝競技結果

予選を勝ち上がって来た選手たち。シード権を持つ選手たち。戦いの舞台への立ち方はそれぞれだが、目指すはひとつ。全日本大会にどうしても行きたい!



パブリック選手権地区決勝	24	女子パブリック選手権地区決勝	28
ミッドアマ選手権地区決勝	30	女子ミッドアマ選手権地区決勝	32
シニア選手権地区決勝	34	女子シニア選手権地区決勝	35
ミッドシニア選手権地区決勝	37		

ゴルフを知る辞典

伝統が変わる時

久保田 誠一

(ジャーナリスト、ゴルフ史研究者、当協会理事)

ゴルフの聖地が女性に「門戸開放」

スコットランドで2014年9月18日、歴史に残る二つの決定がくだされた。イギリスからの独立の可否を問う住民投票では「ノー」、セントアンドリュースのロイヤル・アンド・エンシェント・ゴルフクラブ(R&A)に女性会員を認めるか否かの会員投票では「イエス」と、相反する結果が出た。

前者の結果は世界中に大々的に報道されたが、後者の方は日本のメディアには無視された格好で、一部の新聞に小さい記事が掲載されたに過ぎない。

しかしながら、ゴルフの総本山、R&Aが創設260年にして「女人禁制」を解いたということは英国や米国の名門コースにまだに残る「会員は男子に限る」(Man's Only)という女性を差別する制度に大きな影響を与えるもので、ゴルフ界にとっては画期的な出来事である。

会員投票で260年前の規則を改定

世界各国に散らばる会員2400人に対して書面による投票を実施したところ、85%が女性会員を認めるべきとの回答を寄せた。ピーター・ドーソン理事長は9月18日、「この結果は即刻実施される。R&Aは男性と女性の会員からなるクラブに生まれ変わった」と宣言した。

翌日の欧米の新聞の見出しを拾うと、「R&Aは260年におよぶ女人禁制に終止符」(スコッツマン紙)、「古寺がついに女性に扉を開いた」(ニューヨークタイムズ紙)、「R&A圧力に屈し、ついに女性会員を認める」(デイリー・エクスプレス紙)、「この決定はゴルフがすべての人のものであるというメッセージである」(ガーデアン紙) など記されている。

R&Aが1754年、クラブ規則を作成する際に「会員はジェントルマンによって構成される」と定めて以来、260年後の2014年まで女性を会員に加えるべしという意見は退けられてきた。年代を経て女性のプレーは許されるようになるが、その「障壁」が完全に取り除かれたのである。

オールドコースわきに女性専用18ホール

1860年、セントアンドリュース・オールドコースの脇にキャデーたちがつくった粗末なコースでロバート・ブーシー夫人たちがプレ



18番グリーンを取り巻くギャラリー、左上の建物がR&A本部。女子会員第一号候補としてアニカ・ソレンスタム(スウェーデン人)、ルイス・リチャードソン(セントアンドリュース大総長)などの名があがっている。

写真出典: The British OPEN (Contemporary Books)

ーを始めた。R&Aの著名なメンバーである夫たちはオールドコースでのプレー中で、夫人たちは時間を持て余してクラブを振っていたのだろう。ところが、彼女たちの行為が男性会員の矚感を買い、以後ゴルフクラブを握らないよう命じられた。

ブーシー夫人はこの「脅し」に屈せぬばかりか、逆に女性差別に怒りを募らせて、1866年にオールドコースに沿った狭い地域を手に入れて、女性だけのパー3の18ホールを作り上げた。翌年、セントアンドリュース・レデース・ゴルフクラブを立ち上げ、自らが理事長に収まった。このクラブは現在も命脈を保っている。女性が差別と闘った歴史はこのように古い。

オーガスタナショナルが「先鞭」

スポーツ界における性差別(女性差別)撤廃が進む中で、男子プロゴルフ4大競技(メジャー)の一つ、マスターズを主宰するオーガスタナショナル・ゴルフクラブが2012年、Man's Only制度を改定し、コンドリヤー・ライス(元米国務長官)と、ダリア・ムーア(南カリフォルニアの実業家)の二人の女性を会員として迎えた。「女性を排除しているコースはマスターズ開催地としてふさわしくない」との世論にしぶしぶ白旗を上げた格好である。

2013年にはイングランド南岸のライト島にあるロイヤル・ヨット・スカルドンが女人禁制を廃止した。名誉総裁である女王も表玄関からの入室を拒否されたことで知られる200年の歴史を持つクラブである。

次いで、セントアンドリュースが「落城」した。これで、全英オープン開催コースで女性の入会を認めていないのは、ミュアフィールド、ロイヤル・セントジョージズ、ロイヤル・トルーンの三つになった。

今年の全英を開催したミュアフィールドはその閉鎖的体質に対して内外から非難を浴びたことは記憶に新しいところだが、次は2016年の開催コースであるロイヤル・トルーンが集中砲火を浴びることになるのではないかと。奇しくもリオデジャネイロでオリンピックが開催され、ゴルフが正式種目として実施させる年である。

16歳の坂本雄介選手が初日5位から見事な逆転V

茨城県のウィンザーパーク ゴルフ アンド カントリークラブで行われた東日本A地区決勝は、坂本雄介選手(16歳)が2日目のアウトで初日首位の大塚大樹選手(17歳)に追いつき、インで1打引き離して逆転優勝を遂げた。



順位	名前	出場コース	1R	2R	Total
1	坂本 雄介	ハーモニーヒルズ	73	66	139
2	大塚 大樹	ウィンザーパーク	71	69	140
3	育藤 優作	紫あやめ36	74	69	143
4T	河田 文一郎	イーストウッド	74	70	144
4T	神谷 健太	ウィンザーパーク	73	71	144
4T	星野 陸也	ウィンザーパーク	72	72	144
4T	林 侃汰朗	那須野ヶ原	71	73	144
8	高橋 慧	イーストウッド	73	72	145
9T	須藤 啓太	那須野ヶ原	77	69	146
9T	育藤 史晶	ウィンザーパーク	73	73	146

11個のバーデーはバット練習の賜物

降雨の影響で初日に全員がホールアウトすることができず、2日目は朝6時から競技が再開。7時24分から初日の組み合わせのまま2日目をやることになった。

第1ラウンドの結果は、大塚選手と林侃汰朗選手(17歳)が1アンダー71で首位。星野陸也選手(18歳)と荒井陸選手(16歳)がバーブレ172で3位タイ。さらに1打差に坂本選手ら6選手が続き、終わってみなければ誰が優勝するかまったく分からない状況となった。

こうした展開の中で大きくスコアを伸ばしたのが坂本選手だった。アウトで5つのバーデーを奪い、2ボギーを叩いたものの33で回り、インも14番パー4でイーグルを記録する

など、1イーグル、2バーデー、1ボギーの33。初日首位の大塚選手も4バーデー、1ボギーの69とスコアを伸ばしたが、坂本選手に1打及ばなかった。

「イーグルはラフからの40ヤードのアプローチが直接カブイン。そのほかにコンディションが悪い中で2日間に11個のバーデーが取れたのは、この試合に合わせてパッティングに重点を置いた練習をしてきた成果。ボールに線が引いて順回転で滑らかに転がるように打つ練習を毎日2〜3時間してきました。初日の午前中は雨の影響もあってあまり入りませんでした。午後から2日目は本当に良く入ってくれました。2日間とも3組目のスタートで1日が長かったです。それだけに優勝が決まったときは嬉しかったです」と喜びを語った。

山城康博選手が1度逆転されるも逃げ切り優勝

千葉県の子葉よみうりカントリークラブで行われた東日本C地区決勝は、初日首位の山城康博選手(26歳)と1打差2位タイの加治屋舜介(18歳)との一騎打ちの様相となったが、山城選手が一度は逆転されながらも2打差をつけて優勝した。



順位	名前	出場コース	1R	2R	Total
1	山城 康博	八千代	68	70	138
2	加治屋 舜介	ムーンレイク市原	69	71	140
3	川上 優	千葉よみうり	73	69	142
4	河内場 将希	千葉よみうり	69	76	145
5	坂田 将貴	千葉よみうり	72	75	147
6T	鶴田 貴也	市原・柿の木台	74	74	148
6T	磯井 怜	八千代	73	75	148
8T	竹田 駿樹	千葉よみうり	74	75	149
8T	丁 志優	八千代	73	76	149
8T	島本 大詩	千葉よみうり	69	80	149

ピンチでも焦らずプレーする心がける

「2日目の13番では、ボールを左下の10番にまで曲げるなどドライバーショットがあまり良くなかったですが、アイアンショットが良かったです。15番パー3のティーショットや16番パー4の第2打のOKバーデーも、アイアンで自信を持ってピンを狙えました。一度はアウトで逆転されても、ボギーを叩かなければチャンスは来る」と思っていたので焦ることはありませんでしたね」

初日3アンダー68で単独トップに立った山城選手がアウトをパープレーの36で回ったのに対し、島本大詩選手(24歳)、河内勝行選手(14歳)とともに初日2位タイだった加治屋選手が2アンダー34で回り、その時

点で加治屋選手がリーダーとなった。インの10番から14番までの5ホールは、13番での山城選手のピンチもあったが、ともにバーを連ねた勝負が動いたのは15番。山城選手が4メートルのバーデーパットを沈め、続く16番ではOKバーデーの距離に第2打を寄せた。加治屋選手は両ホールパーで、2ホールを残して山城選手が1打リード。17番パー5は飛距離の勝る加治屋選手にチャンスがあると思われたが、第2打がグリーンオーバーしてパー。山城選手もパー。勝敗の行方は千葉よみうりカントリークラブ名物の18番パー3にまでもつれたが、山城選手がボギー、加治屋選手がダブルボギーで決着した。3位には2日目のベストスコア69をマークした川上優大選手(20歳)が入った。

14歳の豊山良選手が2位に4打差をつけて逆転優勝

山梨県の富士ゴルフコースで行われた東日本B地区決勝は、初日首位の越川直毅選手(17歳)に1打差の2位だった豊山良選手(14歳)が2日目のインで越川選手を逆転。2位には中島啓太選手(13歳)が入った。



順位	名前	出場コース	1R	2R	Total
1	豊山 良	三井の森軽井沢	69	71	140
2	中島 啓太	昭和の森	74	70	144
3	越川 直毅	三井の森軽井沢	68	77	145
4	大森 崇弘	富士・山中湖	71	75	146
5	南 富士	富士・山中湖	73	74	147
6	西川 幸一郎	シード・日刊アマ	71	77	148
7T	野口 裕太	昭和の森	72	77	149
7T	中山 和成	富士グリーンヒル	71	78	149
9T	関 富士	富士・山中湖	77	73	150
9T	笠原 瑞城	三井の森軽井沢	76	74	150

5アンダーが2日間

初日首位に立ったのは4アンダー68をマークした越川選手。1打差の2位に豊山選手、3打差の3位タイに中山和成選手(33歳)、大森崇弘選手(39歳)、西川幸一郎選手(58歳)の3人がいた。最近のパブリック選手権の地区決勝ではジュニアが上位を独占する傾向があるが、今大会の初日を終えた段階ではジュニアは豊山選手と越川選手だけという異変が見られた。豊山選手はジュニアの試合と日程が重なってしまったために、大阪府在住ながら東日本B地区の三井の森軽井沢カントリー倶楽部の予選を勝ち抜いて今大会に駒を進めていた。

その豊山選手が2日目のアウトで38としながらも、40を叩いた越川選手を逆転。インでは11番、17番、18番でバーデーを奪い、終わってみれば、この日2アンダー70で回った中島選手に4打差、越川選手に5打差をつけて優勝した。

14歳の織田信亮選手が2日目に69をマークし逆転

富山県の小杉カントリークラブで5月21日、22日に行われた中部日本地区決勝は、織田信亮選手(14歳)が通算4アンダー140ストロークで初優勝した。1打差の2位は岡崎錬選手(15歳)、3位は小木曾喬選手(17歳)が入った。



順位	名前	出場コース	1R	2R	Total
1	織田 信亮	小杉	71	69	140
2	岡崎 錬	正眼寺	71	70	141
3	小木曾 喬	名古屋広幡	70	72	142
4	加藤 勇希	名古屋港	70	74	144
5	元田 大貴	小松	73	72	145
6T	山田 敏靖	小杉	73	73	146
6T	上山 敦士	名古屋港	72	74	146
8T	青山 晃晃	名古屋港	75	73	148
8T	荒木 久暉	名古屋港	73	75	148
8T	竹内 玲雄	シエロ	72	76	148

無欲がパーオン率を高めた

適度の緊張感と無欲が中学生のゴルフを変えた。決勝の2日目、首位を1打差で追う最終組。さらに、同じ組に福井工大附属高の先輩、小木曾選手と岡崎選手がいた。同じ附属の中学3年生の織田選手にとっても目標にしている先輩だ。これまで一緒に出場した試合で、2人より上位になったことは一度もなく「最近、調子も悪くて」という織田選手には欲もなかった。

その無欲が高校生3人を相手に、常時10ヤード以上オーバードライブする安定したドライバーショットを生んだ。残り2ホールの16番の時点で6バーデー、1ボギーで先輩の小

木曾選手、岡崎選手に3打差。上り2ホールは「緊張して」連続ボギーとした織田選手だが、きっちり1打差を守り切った。「優勝もそうだが、15ホールもパーオンしたことが信じられません」と自分のプレーに驚いた。一方、先輩の小木曾選手、岡崎選手にとっては驚きの結果だろう。優しい2人の先輩は中学生の織田選手に気を使っていた。実力差が歴然としていたからだが、気が付けば、後輩は気持ちよくゴルフを駆け抜けていた。

大雨予報でほとんどのピンが奥に切られた。「普通は手前とか奥とかで考えることが多かったんですが、きょうは上ばかりだから思い切って攻められました」と織田選手。まさに、幸運が重なった初優勝だった。

パブリックアマチュアゴルフ選手権西日本四国地区決勝

高校3年生の遠藤健太選手が念願の優勝!

初日、強風で多くの選手がスコアを崩す中、トップに立ったのは昨年の全日本パブリックミッドアマ勝者の谷本伊知郎選手(40歳)。2位の遠藤選手に2打差を付ける73でラウンド。3位タイには、昨年中学生ながら優勝の杉原大河選手(14歳)と一昨年優勝の尾崎竜二選手(37歳)の二人が5打差の78で続いた。

最終日、最終組の組み合わせは平成24年度の四国アマチャンピオンの遠藤選手と3人のパブリック優勝経験者が勢ぞろいしてのまさにマッチプレー。最終日午前のラウンドを遠藤選手が36、谷本選手が37で回り二人はトップタイに並んだ。

だが、12番ホールで谷本選手はダブルボギー、遠藤選手はバーデいで勝敗の行方が決定的となった。気落

ちした谷本選手は5位に後退、杉原選手は2位タイに留まった。遠藤選手は西日本四国大会で一昨年在2位、昨年が5位だったが、これで元3チャンピオンに雪辱を果たした。

優勝した遠藤選手は2012年度の四国アマの優勝者。寒川高に入ったばかりの15歳で、四国アマを史上最年少で初制覇した。小学5年生のときに父・正典さんの勧めでクラブを握り、中学1年生から試合に出場し、中学2年生で四国小学生競技を初制覇。ゴルフがオリンピック種目になる2016年に遠藤選手は19歳、四国から女子アマの森田遙選手とともに、日の丸を背負った選手になるのか、期待が膨らむ。



西日本四国地区決勝は徳島県のコート・ベール徳島ゴルフクラブに131人が参加して行われ、寒川高校3年生の遠藤健太選手(17歳)が通算148ストロークで優勝した。



順位	名前	出場コース	1R	2R	Total
1	遠藤 健太	シード・高松	75	73	148
2T	坂本 将規	コート・ベール徳島	79	72	151
2T	杉原 大河	シード・丸亀	78	73	151
4	関藤 侑嗣	コート・ベール徳島	79	73	152
5	谷本 伊知郎	シード・高松	73	80	153
6	西山 大広	高松	79	75	154
7T	板東 篤司	高松	80	76	156
7T	尾崎 竜二	コート・ベール徳島	78	78	156
7T	杉原 悠太	丸亀	78	78	156
10	吉田 泰基	高松	81	76	157

パブリックアマチュアゴルフ選手権西日本関西地区決勝

関西地区決勝は大阪学院大学の徳永圭太選手がV

2日目、徳永選手は初日4アンダーでトップの石過功一郎選手(15歳)の1組前でラウンド。前半を1アンダーの35で回り、トップの石過選手に1打差に迫る。午後はパットが冴えて、10、12、16番でバーデいを奪い33。2位石過選手に1打差をつけて快勝した。3位には昨年の関西オープンに中学生で出場して話題になった岩田大河選手(15歳)が入った。

優勝した徳永選手は小学6年生から、関西と西日本小学生ゴルフ選手権、兵庫県中学生選手権や大阪府高校選手権など近畿の大会を総なめにしてきた。しかし昨年、ゴルフ強豪校の大阪学院大学に入学して、これまでに1年間、絶不調に陥り、これまで

1年間の絶不調を払拭する逆転V

西日本関西地区決勝は兵庫県のマスターズゴルフ倶楽部に154人が参加して行われ、徳永圭太選手(19歳)が通算139ストロークで優勝した。



順位	名前	出場コース	1R	2R	Total
1	徳永 圭太	よみうり	71	68	139
2	石過功一郎	ダンロップ	68	72	140
3	岩田 大河	京阪	70	73	143
4T	久保田 皓也	アオノ	74	70	144
4T	牧 慎稔	ダンロップ	71	73	144
6	中尾 亮太	滋賀甲南	74	71	145
7T	吉本 龍斗	滋賀甲南	73	73	146
7T	蟬川 泰果	西神戸	72	74	146
9T	竹山 昂成	シード・グランドオーク	77	70	147
9T	迫田 航季	京阪	75	72	147



290ヤードを飛ばしていた得意のドライバーがイップス状態に。チーム団体メンバーに入れなかった。「この優勝で自信が付きました。今年には団体戦優勝に貢献したい」と意欲満々だ。

パブリックアマチュアゴルフ選手権西日本九州地区決勝

大分県の14歳の芹澤慈眼選手が混戦を断って初優勝

初日は猛暑。2日目は途中中断もあつたほどの大雨。天候同様、大会も1ホールごとに順位が入れ替わる大混戦となった。

初日は宮里選手と富本虎希選手(16歳)と芹澤選手の3人が3オーバー175で首位。池田選手が76で単独4位。その4人が最終組で回った。2日目は朝から激しい雨が降り続ける中、最終組のアウトのスコアは、宮里選手が40、富本選手が41、芹澤選手が39、池田選手が37で、池田選手が13番で、池田選手は11番で13でバーデいを奪ってリードを広げたが、何と14番からの5ホールを連続ボギーでスコアを落とす。インを2つのボギーだけにとどめた芹澤選手が、篠原選手ら5選手に

うじて1打上回り優勝した。「初日はめまいがするくらいの猛烈な暑さで、2日目は先が見えないほどの大雨。2日間ともティショットが悪く、何度も林の中に打ち込みました。でも、優勝とかは考えないで気軽にやろう」とプレーしたのが良かったのかもしれない。林の中からは無理してグリーンを狙わず、一度フェアウェイに出してから寄せワンを狙いました。最終ホールで僕が約3メートルの下のりのパーパットを残して、宮里選手が15メートルくらいのパーパットを入れて1打差になったときには緊張しましたが、何とかパーパットが入ってくれて助かりました。後で知ったのですが、あれを外していたら、6人でのプレーオフでしたからね」と、悪コンディション中でのプレーを終えて胸をなでおろしていた。

宮崎県のトム・ワトソンゴルフコースで行われた西日本九州地区決勝は、稀に見る大混戦の中、大分県の14歳の芹澤慈眼選手が優勝。1打差の2位には篠原仕師命選手(16歳)、菅卓人選手(16歳)、葛城史馬選手(16歳)、池田悠希選手(13歳)、宮里拓弥選手(14歳)の5選手が入った。



順位	名前	出場コース	1R	2R	Total
1	芹澤 慈眼	トム・ワトソン	75	77	152
2T	篠原 仕師命	トム・ワトソン	78	75	153
2T	菅 卓人	トム・ワトソン	78	75	153
2T	葛城 史馬	トム・ワトソン	78	75	153
2T	池田 悠希	ひぐち時津	76	77	153
2T	宮里 拓弥	南山	75	78	153
7	福岡 史	トム・ワトソン	78	76	154
8	永浦 史	シード・瀬板の森	77	79	156
9	富本 虎希	南山	75	82	157
10T	安部 寛章	トム・ワトソン	78	81	159

パブリックアマチュアゴルフ選手権西日本中国地区決勝

15歳の金谷拓実選手が安定したプレーで初優勝!!

金谷選手は2日目、初日トップの島野選手を1打差で追ったが、前半を4バーデイ、3ボギーの1アンダーで回り、パープレーの島野選手に並んだ。午後は金谷選手が1オーバー1の37だったのに対し、島野選手は1ダブルボギー、3ボギーの乱調で41と崩れ、3位になった。

優勝は2日目パープレーでラウンドした金谷選手。2位には昨年5位タイだった大嶋炎選手(16歳)が入った。金谷選手は「うれしい。やつと西日本で勝てました。現在、日本ナショナルチームの育成グループに所属していますので、早く正規メンバーに入りたい」と話す。

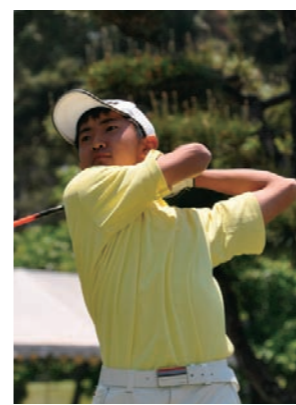
広島国際学院高校1年生の金谷選

日本アマ優勝の夢に向け確かな前進

西日本中国地区決勝は鳥取県の米子ゴルフ場に90人が参加して行われ、前回大会2位タイだった金谷拓実選手(15歳)が前回チャンピオン・島野瑞央選手(18歳)に競り勝ち逆転で初優勝を勝ち取った。



順位	名前	出場コース	1R	2R	Total
1	金谷 拓実	シード・水島	70	71	141
2	大嶋 炎	米子	72	71	143
3	島野 瑞央	シード・花回廊	69	76	145
4	藤山 大輝	奥津	71	77	148
5	小崎 平優	米子	77	72	149
6	飯田 健和	岡山空港	75	78	153
7	重友 俊央	花回廊	72	83	155
8T	久常 涼	奥津	77	79	156
8T	金乙 雅美	マーメイド福山	76	80	156
10T	長谷川 圭佑	マーメイド福山	82	75	157



手は、5歳でゴルフに興味をもち、クラブを握った。12歳で平成22年度の中国小学生ゴルフ大会で初優勝。呉市立昭和北中学に進学してからは、1年生で中国ジュニア3位、2年生で広島オープン2位、3年生で日本アマのカット43位タイとなるなど実績を積み上げ、JGAの強化選手に選ばれた。その自覚で毎日、自宅周辺の山道で4〜5キロの走り込みを欠かさない。日本アマ優勝の夢に向けこれからも走り続ける。

最終日の強風に耐え15歳の吉本ひかる選手が初優勝

パーを重ねるゴルフが優勝を引き寄せる

優勝した吉本選手は滋賀県に住む高校2年生。関西圏なのだが、「中部は予選がないので」とこの試合に出た。実は昨年の大会が関西に近い三重県のグランシエロGCで行われたことから関西ジュニアが多く出場。優勝も関西の結城里麻選手（当時18歳）が制した。今大会にも10人前後の中部圏以外の選手が出場、優勝も2年連続関西のジュニアが獲得した。

2日目、首位に1打差でスタートした吉本選手は落ち着いたゴルフで前半2バーディ、1ボギーの35でターン。午後から風が強くなり、上位の選手がスコアを崩す中、吉本選手は10番のボギー以降パーを続け、凌ぎ切った。「とりあえず、パーをしっかり取っていいこう」という堅実な試

中部日本女子地区決勝は愛知県のウッドフレンズ森林公園ゴルフ場・西コースで36ホールストロークプレーを行い、吉本ひかる選手（15歳）が2日目に72をマークし、通算1オーバー145で逆転、初優勝した。2位タイには2日目70のベストスコアをマークした松田鈴英選手（16歳）と、橋本千里選手（16歳）が入った。



順位	名前	出場コース	1R	2R	Total
1	吉本ひかる	森林公園	73	72	145
2T	松田鈴英	森林公園	76	70	146
2T	橋本千里	森林公園	73	73	146
4T	吉本七海	森林公園	74	73	147
4T	山下美樹	森林公園	73	74	147
6T	三浦緒夢	森林公園	77	71	148
6T	小野祐奈	森林公園	75	73	148
6T	寺田紅蘭	森林公園	74	74	148
6T	立浦琴奈	森林公園	74	74	148
10T	平井亜実	森林公園	77	72	149



ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場・西コース

合運びが成功した。日本ジュニアは2年連続ベスト10入り、昨年の日本女子アマでもベスト32に残っている関西でも強豪の1人。祖父父母が愛知県豊田市に住んでいて小さい頃から愛知県に慣れ親しんでいた。

なお、今年の大会には立浦3姉妹をはじめ、4組の姉妹が出場。最高齢は63歳だった。

16歳の片岡尚之選手が逃げ切り初優勝

安定したゴルフで堂々の初優勝

今回の北海道・青森地区決勝大会も、北海道のジュニアによる優勝争いとなった。初日首位に立ったのは、4バーディ3ボギーの唯一人アンダー1パーの71で回った札幌光星高校2年生の片岡選手で、1打差で旭川龍谷高校3年生の長谷川選手と宮本太郎選手（29歳）が追っていた。

2日目に入ると宮本選手がアウトで39と脱落。片岡選手が1バーディ1ボギーのパープレー36、長谷川選手は1バーディ2ボギーの37。二人の間の差は2と開いたが、長谷川選手は前年2位に甘んじただけに雪辱を果たしたい。しかも長谷川選手は初日のアウトで4バーディ、ノーボギーの4アンダー32という爆発力があるところも見せていて予断は許さない。しかし、長谷川選手は、イン

北海道の随縁カントリークラブ恵庭コースで8月25日、26日行われた北海道・青森地区決勝は、初日71で首位の片岡尚之選手（16歳）が2日目もパープレーの安定したゴルフを見せて逃げ切り、通算1アンダーで優勝した。2位には長谷川大晃選手（17歳）、3位タイには和賀勇介選手（23歳）が入った。



順位	名前	出場コース	1R	2R	Total
1	片岡尚之	シード・随縁	71	72	143
2	長谷川大晃	シード・随縁	72	73	145
3	和賀勇介	日刊アマ	75	72	147
4	宮本太郎	随縁	72	78	150
5	和田七尾	シード・ニセコ	77	74	151
6	吉田雅将	随縁	77	77	154
7	山下大蔵	随縁	76	79	155
8T	小原将大	随縁	78	79	157
8T	佐藤大広	ダイナスティ	76	81	157
10T	笹村心	随縁	76	84	160

でも勝負どころのパーディパットがなかなか決まらない。対して片岡選手は、10番パー4でバーディを奪って3打差、13番パー4もバーディで4打差と徐々に差を広げ、17番、18番で2打詰められたものの、両者ともインはパープレーの36で、片岡選手が長谷川選手に2打差をつけて初優勝を果たした。

「目標は2日間で6アンダーでした。調子は悪くはなかったのですが、ショットとパットが噛み合わなかったですね。長谷川選手をはじめ、いつも競い合っている北海道のジュニアの仲間も良くなかったから優勝できたとと思います。この優勝で秋のプロの中の試合が楽しみです」と語った。その後、「ANAオープン」で57位タイ、「アジアパシフィックオープン」で59位タイに入る健闘を見せた。

連続バーディで勢いに乗った石川選手が初優勝

宮里藍選手が目標の16歳は7番アイアンが得意

1日だけの競技は、午前中のハーフに好スコアを出した選手が有利になる。もちろん各選手はスタートダッシュに多くの力を使う。見事に石川選手は1〜3番まで連続バーディ、5番、8番でもバーディを奪い、ノーボギーの31で回った。松本選手も4バーディの32を出して、両者ともに午後はパープレーに収める手堅さで石川選手が1打差を守り逃げ切った。69の3位タイには大西樹里選手（15歳）、敷下真衣選手（16歳）、平岡瑠衣選手（14歳）、辻岡愛理選手（16歳）ら4人が並んだ。

毎年、西日本女子地区決勝には、中学・高校の選手が集まる。今年も参加者の約9割を小・中・高生が占め、上位23名が、すべてジュニアだった。

岡山県の奥津ゴルフ倶楽部で開催された西日本女子地区決勝には155人が参加し、石川明日香選手（16歳）が67ストロークで初優勝。1打差の2位に松本春香選手（17歳）が入った。



順位	名前	出場コース	out	in	Total
1	石川明日香	京阪	31	36	67
2	松本春香	京阪	36	32	68
3T	大西樹里	高松	35	34	69
3T	敷下真衣	水北	34	35	69
3T	平岡瑠衣	高松	34	35	69
3T	辻岡愛理	高松	33	36	69
7T	横山紗蔵	京阪	36	34	70
7T	西村優菜	京阪	35	35	70
7T	後藤未希	京阪	33	37	70
10T	篠原真里	シード・ひぐち時津	36	35	71



優勝した石川選手は関西女子アマで8位タイの成績を持ち、日本女子アマは2度目の出場となる。

「昨年は42位タイでCUTだったので、今年はベスト8が目標です」と話す。ゴルフは父親に勧められ小学2年生から始めたが、「ドライバーは230ヤードで、7番アイアンが得意クラブです。将来は宮里藍さんのようなプロになり、海外に行きたい」と大きな夢を持っている。

最終2ホール連続バーディで植竹希望選手が初優勝

上位に入ればの気持ちで、結果的に混戦から抜き出る

今大会も、出場選手の大半が10歳代という若手中心の競技となった。ただ、1日競技なので最初から大混戦になることが確実視され、前半を終えてのハーフチェックの段階でも飛び抜けたスコアの選手はおらず、すべてが終わってみなければ結果は分からなかった。

ハーフチェックでは、イン組の宮田成華選手（16歳）が34で首位。同じくイン組の西野選手と、アウト組の高橋彩華選手（15歳）と河本選手が35で2位タイ。36の5位タイに3人、さらに37が何名も続くという予想通りの混戦となった。

優勝争いは、まずアウト38の西野選手と、アウト37、イン36の青野選手が通算1オーバーでホールアウト。

栃木県のイーストウッドカントリークラブで5月8日に行われた東日本地区決勝は、1日大会だけにまったく予断を許さない展開となったが、インの最終組から3組前にスタートした植竹希望選手（15歳）が上りの2ホールを連続バーディとして、2位の河本結選手（15歳）に1打差で優勝した。3位タイには、西野桜選手（14歳）と青野紗也選手（15歳）が入った。



順位	名前	出場コース	out	in	Total
1	植竹希望	市原・柿の木台	35	36	71
2	河本結	紫あやめ36	35	37	72
3T	西野桜	ウィンザーパーク	38	35	73
3T	青野紗也	昭和の森	37	36	73
5T	中村英美	ハーモニーヒルズ	39	35	74
5T	佐藤優	朝霞	38	36	74
5T	河村菜奈	三井の森軽井沢	37	37	74
5T	桑原萌	新玉村	37	37	74
5T	高橋彩華	那須野ヶ原	35	39	74
10T	宮田成華	昭和の森	41	34	75

それ以上の選手が現れるか注目される中、イン36の植竹選手がアウト35の通算1アンダーで抜け出した。後続の組では、アウト最終組の河本選手がインは37の通算パープレーで2位となった。

「前半36で、ハーフチェックの際にアンダーの人が数名いたので、後半半頑張って何とか2位か3位に入りたいな」と思っていた。最後のアウトの8番と9番で2メートルくらいのバーディパットが決まって、上がってきたら1位になっていました。最終ホールは下りの右に切れる苦手のパットでしたが、優勝するときはあというパットが入るのでですね。勝因は、この試合に備えて100ヤード以内のショットを集中的に練習してきたことです。これからは他のショットの精度も上げたいと思います」とさらなる精進を誓った。

榎原吉規選手が4打差を逆転し初優勝!

首位に4打差の7位タイでスタートした中部のミッドクラスの第一人者、榎原選手が前半33、後半34の5バーディー、ノーボギーで逆転優勝した。昨年、中部ゴルフ連盟の中部ミッドアマで初めて優勝を体験すると、日本ゴルフ協会主催の日本ミッドで3位。そのシードで今年の日本アマチュアゴルフ選手権にも出場している。身長163センチ、体重56キロと小柄だが、切れのいいショットを放つ。名古屋商科大学ではゴルフ部に在籍しており、卒業後は愛知県半田市にあるスズキゴルフに就職、店長としてクラブのフィッティングなどを手掛けたり、店長ブログも公開している。



名古屋港ゴルフ倶楽部(富浜コース)

週二回50球の練習で優勝を掴む

愛知県の名古屋港ゴルフ倶楽部(富浜コース)で7月29日、30日に行われた中部日本ミッドアマ地区決勝は、榎原吉規選手(34歳)がトータル142で初優勝した。1打差の2位には藤井広文選手(56歳)、3位は増野逸実選手(35歳)が入った。



順位	名前	出場コース	1R	2R	Total
1	榎原吉規	名古屋広幡	75	67	142
2	藤井広文	シード・正眼寺	71	72	143
3	増野逸実	森林公園	77	72	149
4	山中敏靖	シード・小杉	71	79	150
5	山本英一	名古屋広幡	78	73	151
5T	松本健二	名古屋広幡	78	73	151
5T	来谷修二	名古屋広幡	79	73	152
7T	小池正行	名古屋港	77	75	152
7T	小山悦也	名古屋広幡	76	76	152
7T	小池伸起	名古屋港	76	76	152

仕事上、練習は「週1がやっと、それも50球ぐらい」なのに安定した成績を残せるのは運動センスの賜物だろう。今年の日本アマで痛めた左ヒジが完治せず「一時は電気が走ってパターも持てなかった。出場してよかった」と笑顔の榎原選手だった。

池田玄順選手が2位に4打差の完全優勝

長野県の鹿島南夢科ゴルフコースで7月22日、23日に行われた東日本ミッドアマ地区決勝は、初出場の池田玄順選手(31歳)が通算1アンダー143ストロークで回り、2位の竹内貴広選手(43歳)に4打差、3位の小川文平選手(49歳)と木下輝洋選手(40歳)に6打差をつけて、初出場で初優勝を成し遂げた。



順位	名前	出場コース	1R	2R	Total
1	池田玄順	清里	72	71	143
2	竹内貴広	古河	76	71	147
3T	小川文平	古河	75	74	149
3T	木下輝洋	うぐいすの森水戸	74	75	149
5	岡野智弘	紫あやめ36	74	76	150
6T	柳本常雄	昭和の森	78	73	151
6T	岩波隆	富士見高原	76	75	151
6T	横田弘樹	シード・市原・柿の木台	74	77	151
6T	西川幸一郎	昭和の森	74	77	151
10T	田中良博	シード・昭和の森	79	73	152

「全日本大会に行きたい」一心で、初出場初優勝を決める

完璧な圧勝劇だった。周りのゴルフ仲間から誘われて出場した今回のミッドアマ選手権。丘の公園清里ゴルフコースの予選を2位に7打差の大差で優勝して臨んだ決勝大会でも勢いはそのままだった。初日はアウトで4ボギーの40と芳しくないスタートだったが、インは18番パー5で2オン1パットのイーグルを奪うなど1イーグル3バーディー、1ボギーの32でパープレー。74の5人に2打差をつけて2日目を迎えた。

このコースはアウトが難しいからアウトは耐えて、インで攻めよう、という作戦で臨んだ2日目。アウトは2番と7番でボギーを叩いたが、8番、9番でバーディーの36。ハーフトエックの時点で2位とはかなりの差をつけて2日目を迎えた。

「初日の18番の8メートルくらいのイーグルパットを始め、長いパットが結構入ってくれたのが勝因です。2日目はショットも良く、上りの難しくないところに乗せることができました。出場する以上は、絶対に全日本大会に行きたい」との思いで必死にプレーしました。終わってみれば2位の方に4打差ありましたが、ゴルフは何が起こるか分かりませんから、余裕はありませんでした」と2日間を振り返った。

池田選手とともに2日目のベストスコアで回った竹内選手に4打差をつけての優勝だった。通算1アンダー143でホールアウト。池田選手とともに2日目のベストスコアで回った竹内選手に4打差をつけての優勝だった。

小野竜彦選手がプレーオフを制して初優勝

千葉県八千代ゴルフクラブで行われた東日本ミッドアマB地区決勝は、初日首位タイの小野竜彦選手(37歳)が2日目に猛追した進藤祥史選手(51歳)とのプレーオフに勝って初優勝。3位タイには片山貴由選手(43歳)と島田修選手(40歳)が入った。



順位	名前	出場コース	1R	2R	Total
1	小野竜彦	シード・富士・山中湖	68	71	139
2	進藤祥史	八千代	72	67	139
※プレーオフの結果、小野選手が優勝					
3T	片山貴由	オールドオーチャード	72	71	143
3T	島田修	富士・山中湖	68	75	143
5T	加藤剛士	八千代	72	72	144
5T	矢口敦士	オールドオーチャード	71	73	144
7T	矢吹元良	下館	71	74	145
7T	ティン・ロジャス	八千代	69	76	145
9	山野貴之	市原・柿の木台	70	76	146
10T	富澤良二	ウィンザーパーク	73	74	147

2ホールに及んだプレーオフを連続バーディーで決着

初日、島田選手と共に4アンダー68をマークして首位タイでスタートした小野選手が、2日目も安定したプレーで逃げ切るかに思われたが、4打差の8位タイにいた進藤選手がアウトを4アンダー32で回った後、13番、14番も連続バーディーとして小野選手に追いついた。

ところが、絶対調を維持していた進藤選手が15番、16番で連続ボギー。それでも「まだ諦めない」と17番で会心のバーディーを奪い、18番はパーで終わったものの通算5アンダーでホールアウト。小野選手は17番で進藤選手1打リードしていることを確認した直後の2打目をハーフトップでグリーンオーバーさせて痛恨のボギー。最終18番ホールのバーディーパ

ットは惜しくもはずれ、プレーオフへ。10番パー4を使つての1ホール目、小野選手の2打目はピン左5メートル。進藤選手はピン右1メートル。先に打った小野選手のパットは「大きく右に曲がるラインで、読み過ぎかな、と思つたら入ってくれました」とバーディー。進藤選手も難なくバーディー。18番パー3の2ホール目は進藤選手がグリーンオーバー、小野選手はピン奥2メートル。進藤選手のアプローチショットが1・5メートルオーバーした後、小野選手がバーディーパットを入れて決着した。「この2日間、ドライバーショットが曲がらず、ほとんどのホールでドライバーを使ったのが良かったです。ミッドは第1回大会から出ていて昨年は3位タイ。そして、やっと今年優勝できました。とても嬉しいです」と勝因と喜びを語った。

林伸行選手がPGS競技で初のタイトルを獲得!

兵庫県のグランドオークプレイヤーズコースで7月17日、18日に行なわれた西日本ミッドアマ地区決勝は、初日71で2位タイだった林伸行選手(39歳)が2日目トップとの1打差を逆転して初優勝した。

林選手は「宮本さんは飛ばし屋でガンガン攻めてくるタイプ。18番は本当に苦しかった。3オンで2メートルを残した最終パットは、しびれた。林選手は「宮本さんは飛ばし屋でガンガン攻めてくるタイプ。18番は本当に苦しかった。3オンで2メートルを残した最終パットは、しびれた。」と語った。

パッティングの好調が最大の勝因

林選手の1日目は14パットの好調さを武器に、3バーディー、2ボギーの1アンダー1発進。2日目は1打差でトップを行く宮本正大選手(41歳)と最終組でプレー。他の選手がスコアを落とす中で、午前の9ホールを宮本選手、林選手共に36のパープレーで回った。午後の10番で宮本選手がボギー、一方の林選手はパーで追い付き首位に並んだが、11番で宮本選手が再度トップに立つ、マッチプレーのような展開となった。林選手は13、14番で連続バーディーを奪い、やっと首位に。その後の4ホールは共にパープレーで、林選手が逃げ切った。



順位	名前	出場コース	1R	2R	Total
1	林伸行	グランドオーク	71	70	141
2	宮本正大	マスターズ	70	72	142
3T	大川聖一	ダンロップ	73	71	144
3T	牧慎	グランドオーク	72	72	144
5T	尾埜文彦	北神戸	76	70	146
6T	坂井英二	ベアズバウジャパン	77	71	148
6T	恒藤高弘	ダンロップ	76	72	148
6T	五森達哉	瀬板の森	73	75	148
6T	水野進一	シード・よみうり	71	77	148
10	間庭一樹	京阪	76	73	149

鈴木智子選手が、大逆転で3度目の優勝!

「地区決勝大会に優勝して、仲間に自慢できて嬉しい」
「1日だけの北海道・青森地区の競技とはいえ、決勝大会に優勝できてタイトルホルダーになれたことは大変嬉しいです。誘ってくれたゴルフ仲間たちへの自慢にもなりますから」
18ホールの競技を終えて、3オパー175の福住選手と佐々木選手のプレーオフとなった。しらかばコース1番パー5を使つての1ホール目と2ホール目はともにパーで、3ホール目は11番パー3に移された。福住選手が1オン2パットでパーとしたのに対し、佐々木選手はティショットがグリーンに乗らず、パーパットも入らずボギー。3ホール目で福住選手の優勝が決まった。

「最終組の二組前でのプレーでリラックスできました」
宮坂選手は1日目79の5位タイ発進。2日目、午前の9ホールはインスタートで3バーデー、1ボギーの34で回った。1日目の上位選手がスコアを落としてゆく中、宮坂選手は13番でバーデー、15番と16番で連続バーデーを奪い、トップに立った。午後は2バーデー、1ボギーの35。2位以下に大差を付ける圧勝だった。昨年の全日本覇者で西日本2位タイだった牧草真由美選手(46歳)が155で続いた。3位タイには白井晶子選手(36歳)、有延さおり選手(42歳)、大仲桃恵選手(38歳)の3選手が156で入り、昨年優勝の森玲子選手(38歳)は1日目、77でトップタイだったが2日目は81と崩れ

「私の自滅です」と肩をガククリ落とす中川選手。
2日間とも同組で中川選手と回った鈴木選手は「中川さんは子育てが一段落して初めてこの大会に出場したそうですが、若い頃、プロを目指していたというように、最初にかかりました。私より若いし、来年からはトロフィーに彼女の名前が刻まれますよ」と、新しいライバルを讃えていた。

「最終組の二組前でのプレーでリラックスできました」
宮坂選手は1日目79の5位タイ発進。2日目、午前の9ホールはインスタートで3バーデー、1ボギーの34で回った。1日目の上位選手がスコアを落としてゆく中、宮坂選手は13番でバーデー、15番と16番で連続バーデーを奪い、トップに立った。午後は2バーデー、1ボギーの35。2位以下に大差を付ける圧勝だった。昨年の全日本覇者で西日本2位タイだった牧草真由美選手(46歳)が155で続いた。3位タイには白井晶子選手(36歳)、有延さおり選手(42歳)、大仲桃恵選手(38歳)の3選手が156で入り、昨年優勝の森玲子選手(38歳)は1日目、77でトップタイだったが2日目は81と崩れ

愛知県の名古屋港ゴルフ倶楽部(富浜コース)で行われた中部日本女子ミッドアマ地区決勝は、鈴木智子選手(44歳)が、中川麻美子選手(42歳)を大逆転し、3度目の優勝を飾った。



順位	名前	出場コース	1R	2R	Total
1	鈴木智子	名古屋広幡	77	81	158
2	中川麻美子	名古屋港	76	83	159
3T	吉川美香	シード・グランシエロ	84	78	162
3T	守谷みゆ	正眼寺	79	83	162
5	石原慶子	名古屋港	81	82	163
6	嘉田チカ	名古屋公園	82	84	166
7	岩崎未美	森林公園	82	86	168
8T	山岸美喜	森林公園	87	82	169
8T	松葉隆子	ランシエロ	83	86	169
10	足立未歩	アリジ	83	87	170

福住幸久選手がプレーオフを制して初優勝

「1日だけの北海道・青森地区の競技とはいえ、決勝大会に優勝できてタイトルホルダーになれたことは大変嬉しいです。誘ってくれたゴルフ仲間たちへの自慢にもなりますから」
18ホールの競技を終えて、3オパー175の福住選手と佐々木選手のプレーオフとなった。しらかばコース1番パー5を使つての1ホール目と2ホール目はともにパーで、3ホール目は11番パー3に移された。福住選手が1オン2パットでパーとしたのに対し、佐々木選手はティショットがグリーンに乗らず、パーパットも入らずボギー。3ホール目で福住選手の優勝が決まった。

「私の自滅です」と肩をガククリ落とす中川選手。
2日間とも同組で中川選手と回った鈴木選手は「中川さんは子育てが一段落して初めてこの大会に出場したそうですが、若い頃、プロを目指していたというように、最初にかかりました。私より若いし、来年からはトロフィーに彼女の名前が刻まれますよ」と、新しいライバルを讃えていた。

北海道のダイナスティゴルフクラブで7月25日に行われた北海道・青森ミッドアマ地区決勝は、福住幸久選手(63歳)が佐々木弘毅選手(55歳)とのプレーオフを制して初優勝を挙げた。3位には、金澤哲夫選手(49歳)が入った。



順位	名前	出場コース	out	in	Total
1	福住幸久	随縁	39	36	75
2	佐々木弘毅	シード・随縁	39	36	75
※プレーオフの結果、福住選手が優勝					
3	金澤哲夫	ダイナスティ	41	36	77
4T	原田勝礼	ダイナスティ	41	39	80
4T	安田晴基	ダイナスティ	40	40	80
4T	中村基嗣	ダイナスティ	40	40	80
4T	本間静雄	随縁	40	40	80
8T	本立花和久	随縁	42	39	81
8T	権文康	ダイナスティ	41	40	81
8T	森木希久	ダイナスティ	40	41	81

実力者・宮坂月子選手が念願の初優勝!!

「最終組の二組前でのプレーでリラックスできました」
宮坂選手は1日目79の5位タイ発進。2日目、午前の9ホールはインスタートで3バーデー、1ボギーの34で回った。1日目の上位選手がスコアを落としてゆく中、宮坂選手は13番でバーデー、15番と16番で連続バーデーを奪い、トップに立った。午後は2バーデー、1ボギーの35。2位以下に大差を付ける圧勝だった。昨年の全日本覇者で西日本2位タイだった牧草真由美選手(46歳)が155で続いた。3位タイには白井晶子選手(36歳)、有延さおり選手(42歳)、大仲桃恵選手(38歳)の3選手が156で入り、昨年優勝の森玲子選手(38歳)は1日目、77でトップタイだったが2日目は81と崩れ

兵庫県のグランドオークプレイヤーズコースで7月17日、18日に行なわれた西日本女子ミッドアマ地区決勝は宮坂月子選手(33歳)が2位に7打差を付ける148で初優勝した。



順位	名前	出場コース	1R	2R	Total
1	宮坂月子	シード・よみうり	79	69	148
2	牧草真由美	シード・ダンロップ	78	77	155
3T	白井晶子	コート・ペール徳島	84	72	156
3T	有延さおり	よみうり	79	77	156
3T	大仲桃恵	シード・グランドオーク	78	78	156
6	依岡富恵	シード・よみうり	77	80	157
7	森玲子	シード・よみうり	77	81	158
8T	安井美由紀	ダンロップ	83	81	164
8T	上阪美千代	西神戸	82	82	164
8T	藤永記代	グランドオーク	82	82	164

7位に終わった。優勝の勝因を「毎回最終組で優勝争いしてきたが、今年は1組前でプレー出来、気楽でした。ドライバーはフェアウェイを外れず、パットもよく入りました。やつと西日本で勝たせてもらい、嬉しい」と話した。

初日2位タイの田中慈子選手が逆転初優勝

「とにかくこの2日間、ショットが好調だったのが勝因ですね。その反面、パットは4パットを1回やっつてしまいましたし、2日間で3パットも数回ありました。距離感が合わなくて、ちよつとでも長いパットは不安でした。」
2日間とも70台で回れたのは、得意な7番、8番、9番アイアンの距離が残る、そのショットが絶好調でほとんどパーオンかカラーに乗ってくれたからです」
猛暑の中の戦いとなり、男子ミッドの組の後に回る女子ミッドの選手にとっては過酷な条件となった。
田中選手は初日5オパー77で小玉陽子選手(45歳)とともに高橋選手に2打差の2位タイにつけた。2

千葉県八千代ゴルフクラブで行われた東日本女子ミッドアマ地区決勝は、初日2位タイだった田中慈子選手(32歳)が2日目に初日首位の高橋美絵選手(40歳)を2打離して逆転優勝。3位には鍋木友子選手(48歳)が入った。



順位	名前	出場コース	1R	2R	Total
1	田中慈子	オールドオーチャード	77	76	153
2	高橋美絵	紫あやめ36	75	80	155
3	鍋木友子	オールドオーチャード	80	76	156
4	上村ひろみ	シード・オールドオーチャード	79	81	160
5	栗原美紀	昭和の森	82	80	162
6T	高田真希	三井の森	85	78	163
6T	庄司春美	富士グリーンヒル	83	80	163
8	小田倉士子	紫あやめ36	83	81	164
9	山下ユナ	ウィンザーパーク	82	83	165
10T	黒木蘭	八千代	83	83	166

惜しくも2位となった高橋選手は、「バーデーが一つも取れませんでしたから、緊張していたのでしようね。田中選手のショットは優勝者に相応しい素晴らしいものでした。負けて悔いなしです」と田中選手のショットを絶賛していた。

西日本地区決勝で永井文雄選手が逆転Vで3度目の優勝

腰痛をおしての出場。静かにくさらずが功を奏す

2012年度の全日本シニアパブリックの覇者・永井選手は1日目トップの藤本道徳選手(63歳)と1打差の2位。3位以下に2打差をつけ、2日目は二人のマッチプレーのような争いが繰り返された。

午前のハーフの1番で藤本選手がボギーで永井選手はトップに並ぶ。だが、3、4番をボギーとして2打差をつけられるも、5、7番のボギーで再度追いつく。藤本選手が6、9番でボギーだったため、2打差をつけて、午後のハーフに入る。午後永井選手が1バーディ、3ボギーの38、藤本選手は1バーディ、2ボギーの37で1打差まで迫るも届かなかった。

選手は17番(パー3)でティショットを池ボチャにし、もうだめかと思ったが、ボギーで切り抜けた。「腰痛で痛み止めを飲みながらだったので、プレー中は静かに、くさらずベストを尽くそうと自分に言い聞かせていたのが幸いしました」と言う。3位には初日76の中村光浩選手(58歳)が入り、昨年の覇者・辻田昭吾選手(58歳)は19位タイだった。

これまで出場のシニアパブリックでは全日本シニア優勝1回、3位1回、西日本シニア優勝3回、2位2回など出場すればいつも上位だった。永井選手は「西日本はよみうりウエストの予選通過者が多くて、同年代の顔見知りとラウンド出来る嬉しさ」と緊張感が魅力」と話す。

今回、優勝を争った2位の藤本選手もよみうりウエストの予選通過者だった。

ミスノオープンなどのビッグトーナメントが数多く開催されてきたチャンピオンコース・よみうりゴルフウエストコース(兵庫県西宮市)で西日本シニア地区決勝が9月25、26日に行われた。初日74の2位・永井文雄選手(64歳)が2日目も安定したゴルフで、優勝を奪いとった。



順位	名前	出場コース	1R	2R	Total
1	永井文雄	よみうり	74	74	148
2	藤本道徳	よみうり	73	76	149
3	中村光浩	アオノ	76	74	150
4	中山森村	ダンロップ	76	78	154
5T	中増元	シード・武庫ノ台	79	76	155
5T	西田好郎	アオノ	78	77	155
7	瀨川好弘	グランドオーク	77	79	156
8	米沢成治	西神戸	82	75	157
9T	米沢成治	西神戸	80	79	159
9T	小林正	シード・グランドオーク	77	82	159

優勝争いの常連の岩井正一選手が念願の初優勝

我慢のゴルフで、最後のハーフで逆転優勝

初日は2オーバー74が3人、75が2人、76が7人、77が3人という熾烈な展開となった。2日目のアウト、その15人の中で抜けたのは、初日トップタイの柳本選手。2つのバーディを奪い、通算パープレーとした。インに入ると、同じく初日トップタイだった岩井選手が猛追。アウトの各ホールはすべてパーで2打差がついていたが、10番でバーディを奪うと、11番で柳本選手がボギーを叩いて並ぶ。13番はともにボギーだったが、14番で柳本選手のダブルボギーに対してバーディ。一挙に3打差となり、16番でもバーディ。17番は3パットのボギーとしたが、通算1オーバーでホールアウト。柳本選手と

千葉県紫あやめ36EASTコースで9月25日、26日に行われた東日本シニア地区決勝は、パブリック選手権の常連でもある岩井正一選手(63歳)が通算1オーバーで初優勝した。2位には荒井眞一選手(69歳)と柳本常雄選手(63歳)が3打差で入った。



順位	名前	出場コース	1R	2R	Total
1	岩井正一	八千代	74	71	145
2T	荒井眞一	紫あやめ36	76	72	148
2T	柳本常雄	昭和の森	74	74	148
4	岩波清里	清里	77	73	150
5	岩瀧正	昭和の森	76	75	151
6T	島村誠	紫あやめ36	79	73	152
6T	鯨井章実	紫あやめ36	76	76	152
6T	玉置健司	八千代	75	77	152
9T	白井健司	シード・オールドオーチャード	79	74	153
9T	亀木文雄	ハーモニヒルズ	78	75	153

初日76で6位タイだった荒井選手に3打差をつけていた。「2年前に股関節を骨折して以来、ドライバーショットがチーピンばかりでした。今大会では体を目一杯使ってクラブを振ることを心掛けたら、それが功を奏しました。今大会から取り替えたバタもグリーンに合っていて、インに入るまでは我慢のゴルフでしたが、10番でバーディが来て流れが良くなったのを感じていたら、柳本選手が11番のボギーに続いて14番でダブルボギー、始めから混戦になると思っていましたから、柳本選手だけでなく先に回る選手たちも警戒したので最後まで気を抜けませんでした。パブリック協会の競技ではトップ5に何度入っても優勝はなかったのですが、優勝できてとても嬉しい」と満面の笑みだった。

高木美知子選手が6打差を逆転して優勝

全日本2勝の実力発揮。上位の乱調に乗じて逆転

本人も周囲も、「まさか、まさか」の大逆転で優勝が決まった。2日目のアウト終了までは、初日首位の武田選手が前半で4連続ボギーを含む40を叩きながらも、初日2位タイの藤選手と君塚桂子選手(53歳)、そして高木選手に4打差をつけて圧倒的に優勢だった。

ところが、インに入っても武田選手は乱調は止まらず、10番から12番まで連続ボギーとした上、13番でダブルボギー、14番でボギー。同組の藤選手も10番ボギー、11番ダブルボギー。君塚選手も10番ダブルボギー、11番から14番までボギーと、だんだん強く吹き始めた風のせいもあって最終組のスコアはホールが進むにつれて落ちてきた。

その一方で、武田選手に6打差で

千葉県の紫あやめ36WESTコースで行われた東日本女子シニア地区決勝は、初日首位に6打差の7位だった高木美知子選手(66歳)が2日目に6打差を逆転。初日首位の武田妙子選手(58歳)に3打差をつけて優勝。3位には藤伊津子選手(56歳)が入った。



順位	名前	出場コース	1R	2R	Total
1	高木美知子	紫あやめ36	82	74	156
2	武田妙子	シード・紫あやめ36	76	83	159
3	藤伊津子	紫あやめ36	79	81	160
4	今井啓子	紫あやめ36	79	84	163
5	河辺陽子	八千代	85	79	164
6T	河嶋静子	八千代	84	81	165
6T	小林清美	八千代	84	81	165
8T	畑中朝子	オールドオーチャード	83	83	166
8T	田中かほる	昭和の森	81	85	166
8T	君塚桂子	シード・ムーンレイク市原	79	87	166

最終組の1組前にスタートした高木選手がアウトを38で回って2打詰めた後、インを1バーディー1ボギーの36で回り、通算156ストロークでホールアウト。最終組が上がつてみると、武田選手に3打差、藤選手に4打差の大差をつけていた。「初日はグリーン上でタッチが合いませんでしたが、2日目はドライバーショットが飛んでくれましたし、アイアンショットもパットも良かったのでスコアをまとめることができました。でも、まさか私が優勝するとは思いませんでした。6打差もありましたからね。最終組のスコアが分からなかったのが良かったかもしれません。優勝などまったく眼中になく、同じ組の人たちは和気あいあいと楽しくプレーしていただけです」と高木選手は謙遜するが、実は全日本シニアに2勝を挙げている実力者でもあった。

プレーオフを制した井上晴雅選手が初優勝

3Wの奇跡連続。220Yを直接カップイン

ちょっとした大逆転劇だった。決勝の2日目、井上選手は前半のアウトでトリプルボギーやダブルボギーを打つなど42と乱れた。その時点で井上選手は「優勝なんか、とっくに諦めていた」。

ところが、風が吹き始め、先を行っていた三河選手、金村正春選手(61歳)のゴルフも荒れ始める。そして、後半に入った15番427ヤードの長いパー4、残り220ヤードを3Wで打った井上選手のボールは直接カップインし、イーグル。気がつけば、三河選手、金村選手に並んでいた。「まさかと思ったけど、確かに並んでいた」と井上選手。

次のホールで三河選手がバーディー1で再度抜け出したが、井上選手は最終18番、打ち上げ181ヤードの

三重県の亀山ゴルフクラブで9月29日、30日に行われた中部日本シニア地区決勝は、井上晴雅選手(55歳)が三河順一選手(64歳)とのプレーオフを制し、初優勝した。



順位	名前	出場コース	1R	2R	Total
1	井上晴雅	シード・森林公園	77	78	155
2	三河順一	アリジ	77	78	155
※プレーオフの結果、井上選手が優勝					
3T	田島光次郎	亀山	80	77	157
3T	小山正行	名古屋港	78	79	157
5T	伊藤明	名古屋広幡	79	80	159
5T	金村正春	シード・名古屋港	78	81	159
7	松葉勇造	定光寺	85	75	160
8T	堀内裕	亀山	83	78	161
8T	本間孝司	亀山	76	85	161
10	小林正一	小松	78	84	162

プレーオフを信じて打ってやる。トップ気味に打った球は2本の木の間に抜け、残り100ヤード地点まで飛んだ。このホールで三河選手がボギーを打ち、思ってもみなかった初優勝が井上選手に舞い込んだ。

4年前、夫人と旅行で出掛けた台湾で、占いをしたところ「ラッキーカラーはパープル」と言われて以来、帽子もシャツもパープルを愛用。そんな55歳のサラリーマンは一躍中部シニア界の強者の1人に駆け上がった。

花井正子選手が2位に2打差をつけて初優勝

三重県の亀山ゴルフクラブで9月29日、30日に行われた中部日本女子シニア地区決勝は、花井正子選手(52歳)が通算6オーバーで、2位に2打差をつけて初優勝した。



順位	名前	出場コース	1R	2R	Total
1	花井 正子	名古屋港	75	75	150
2	田島 和美	シード・名古屋港	75	77	152
3	早田 佳世子	シード・森林公園	79	78	157
4	平田 優子	シード・小杉	81	80	161
5	八田 美恵子	シード・名古屋広幡	80	84	164
6	林 美絵子	シード・シエロ	84	81	165
7	伊藤 謙子	名古屋広幡	83	83	166
8	菊川 美子	シード・グランシエロ	86	81	167
9	三浦 清美	名古屋広幡	84	85	169
10	鈴木 暢子	名古屋港	81	89	170

悪い流れの中、自分を
取り戻して2打差の勝利

花井選手が終盤の粘り腰で、田島和美選手(51歳)に2打差をつけて初優勝した。初日75で、花井選手と田島選手が首位発進。そして決勝の2日目、前半を終えたところで花井選手37、田島選手38で花井選手が1打リードして、勝負は後半の9ホールに入った。

ここで突然、花井選手のパットがおかしくなる。2、4、5番の3つのボギーはすべて3パット。リズムを崩して6番でボギーを叩き、ついに田島選手に逆転された。

「もう精神的にいっぱい、いっぱいでした。でも、ムキになっちゃいけないと言いつつも落ち着くことに徹

しました」と花井選手。いままで崩れ始めると止まらなくなるのが花井選手の悪い癖だった。しかし、それも少しづつ改善し、最近では気持ちのコントロールが少しできるようになり、成績もそれにつれて安定するようになってきた。

この日も花井選手はこの悪い流れを断ち切り、7番でパーディをもちとる。一方田島選手はこのホールダブルボギーとなり花井選手が再逆転。最終9番もパーディを決めて2打差の勝利となった。

「最近、自分にあまり期待しなくなったら、逆に結果が出るようになりました」と花井選手。メンタルスポーツと言われるゴルフを克服できるようになった花井選手のゴルフ人生はこれからだ。

初日の5打差のビハインドを矢吹元良選手が大逆転優勝!

千葉県紫あやめ36WESTコースで9月25日、26日に行われた東日本ミッドシニア地区決勝は、2日目に初日上位の選手が崩れる一方で、初日71で首位の斎藤光男選手(67歳)に5打差だった矢吹元良選手(68歳)が70で回って大逆転優勝を飾った。2位には斎藤選手と若菜茂選手(66歳)が1打差で入った。



順位	名前	出場コース	1R	2R	Total
1	矢吹 元良	シード・紫あやめ36	76	70	146
2T	若菜 茂	市原・柿の木台	76	71	147
4	斎藤 光男	市原・柿の木台	71	76	147
5T	斎藤 光男	八千代	74	74	148
5T	斎藤 光男	紫あやめ36	78	71	149
5T	斎藤 光男	紫あやめ36	74	75	149
5T	斎藤 光男	紫あやめ36	73	76	149
8T	斎藤 光男	山中湖	79	71	150
8T	斎藤 光男	シード・那須野ヶ原	75	75	150
10T	斎藤 光男	富士グリーンヒル	79	72	151

初日の意気込み過ぎを反省。
謙虚にプレーして栄冠をつかむ

「前の週に出場した全日本ミッドアマのコースに比べると距離が短く練習ラウンドもアンダーパーで回れたので初日から意気込んで臨んだらドライバーショットがバラバラで76叩きました。そこで2日目は、フェアウェイさえ行けば難しくないので謙虚にプレーしよう」と心に決めてドライバーを打ちました。その結果アウト、インともに2バーディ、1ボギーの70で回ることができました。

ただ、初日があまりにも悪すぎたために優勝までは届かないかな」と思っていました。運よく優勝することができました。

最終組の2組前を回っていたため最終組が上がるまで優勝の行方が分からない中、親しい仲間と談笑しな

から結果を待った矢吹選手。最終組の初日トップの斎藤選手が17番でボギーを叩き、18番パーで1打差で優勝が決まったことを知らされると「本当？」と言いつつも自然に顔がほころび、この2日間を振り返ってくれた。優勝スコアは通算2オーバー146。1打差に2人。2打差に1人。3打差に3人という混戦の中、最後はシード選手の実力を発揮して、矢吹選手が頭一つ抜けた形で競技は終了した。

「このコースはグリーンが小さいのでパーオンできればバーディチャンスになるけど、パットが難しい。アウトを35で回ったときには、エージシュートもチラつきましたが、3回ほどカップに蹴られてダメでした。まだシニア選手権の方でも頑張りたいですし、エージシュートも狙いたいですね」とコースを後にした。

西日本地区決勝で石川小百合選手が3度目の優勝

スコアメイクが難しい事で有名なよみうりウエストゴルフコース(兵庫県西宮市)で9月25日、26日に西日本女子シニア地区決勝が開催された。昨年は大畑日香選手(68歳)に3連覇を阻まれ、3位だった石川小百合選手(53歳)が高田有加選手(54歳)とプレーオフの末、3度目の優勝を勝ちとった。



順位	名前	出場コース	1R	2R	Total
1	石川小百合	シード・米子	78	84	162
2	高田 有加	ダンロップ	82	80	162
*プレーオフの結果、石川選手が優勝					
3	渡部美弥子	よみうり	79	84	163
4	渡辺のり子	シード・ダンロップ	81	85	166
5	中野 公代	岡山空港	85	84	169
6	泉谷 美和子	よみうり	87	84	171
7T	千石 弘子	ダンロップ	90	82	172
7T	小川 里子	よみうり	88	84	172
9T	佐野 直子	よみうり	85	88	173
9T	松田 裕子	よみうり	84	89	173

距離感の合わない2日間
プレーオフで落ち着きとり戻す

昨年のリベンジに執念を燃やす石川選手は初日から積極的攻めに78ストロークでトップに立ち、79の渡部美弥子選手(56歳)が2位で続いた。2日目は3位以下に3打差をつけての発進だったが、午前のハーフを終えても1位と2位の順位は変わらず1打差で石川選手が首位を保っていた。初日は4位でトップとの4打差を追ってきた高田選手は午後のハーフを3ボギーの39で回り急追を開始。16番でトップに並んだ。

石川選手は午後のハーフに入ると11番のボギーから突然崩れだし、13、14番もボギー。パー5の15番は距離感が掴めず4オン、3パットのダブルボギー。「今日はピンが初日より手前に切っていたのに各ホールでオー

バーばかりしていた」と言う。両者は17、18番を共にパーとボギーでプレーオフになる。背問迫る中でのは1ホール目で決着がついた。

1番ホールの2打目、残り石川選手が130ヤード、高田選手は150ヤード。共にこれをバンカーに入れ、3打目を1・5メートルに付けた石川選手は1パットでパー。高田選手は7メートルを2パットのボギーとして勝負がついた。3位には渡部選手が入り、昨年の覇者・大畑選手は11位に終わった。

2011年から2連覇、13年が3位、そして14年も勝ち、3度目の優勝を果たした石川選手は「2日目の84。ショットもパットも距離感が合わず、同組の選手らの追い上げにあせりました。二人だけのプレーオフになって落ち着き、勝つことができました」と話す。

ミッドシニアのルーキー小島朋広選手が2位に5打差をつけて初優勝

三重県の亀山ゴルフクラブで9月29日、30日行われた中部日本ミッドシニア地区決勝は、小島朋広選手(65歳)が2オーバーで、2位に5打差をつけて初優勝した。



順位	名前	出場コース	1R	2R	Total
1	小島 朋広	名古屋広幡	72	74	146
2T	柴田 正司	森林公園	76	75	151
2T	吉川 廣司	正眼寺	74	77	151
4	吉川 恒夫	アリジ	76	76	152
5T	今吉 三郎	森林公園	78	75	153
5T	右田 敬三	亀山	77	76	153
5T	右田 敬三	シード・名古屋港	73	80	153
8T	佐藤 清美	正眼寺	77	78	155
8T	佐藤 清美	シード・グランシエロ	75	80	155
10T	河村 鐘根	亀山	79	78	157

曲がらないストレート系の
弾道がコースを味方に独走

ミッドシニアは65歳のルーキー、小島選手が安定したショットで快勝した。

初日、強い風が吹く中、パーブレ1の72で小島選手は首位発進、1打差で佐藤文雄選手(67歳)と荒木正光選手(64歳)が追いかける展開になった。首位発進の小島選手だったが、ピンチがなかったわけではない。14番でOBを放ちながら、2バーディで取り返すというしつかりしたゴルフでスコアをまとめた。

そして2日目、この日も風が吹き、そうではなくてもティーショットの打ちどころが難しい亀山GCはさらに難度を上げ、OBが続出した。小島選手も前半10OBを打ち、3オー

バー。混戦が予想されたが、小島選手はここからがしぶとかった。後半2バーディ、1ボギーの1アンダーでラウンドし、2位に5打の大差をつけ、まさに独走優勝を成し遂げた。

65歳になった今年、愛知県民大会を含め、中部ゴルフ連盟主催のミッドシニアも制しており、年間3勝のア、トッププレーヤーである。

「いままではサラリーマンだから休みが取れなかったけど、時間が取れるようになったからね」と好調の理由を語る小島選手。見事なストレート系の弾道の持ち主で、狭い亀山GCのコースに誰よりもマッチしたのは間違いない。そのまっすぐ打つ秘訣を聞くと、小島選手は「軸で回転するだけです」とサラッと答えてくれた。

各地区決勝成績

Table of tournament results for various regions including 32T to 42T, listing names and scores.

Table of tournament results for various regions including 82T to 182T, listing names and scores.

Table of tournament results for various regions including 125T to 182T, listing names and scores.

Table of tournament results for various regions including 14T to 182T, listing names and scores.

Table of tournament results for various regions including 74T to 182T, listing names and scores.

Table of tournament results for various regions including 149T to 182T, listing names and scores.

東日本パブリックアマチュアゴルフ選手権競技 (C地区) 開催日: 5月5日(月・祝) ~ 6日(火・振休) 開催コース: 千葉よみうりCC 6484Y, P71 参加人数174名

Ranking table for the tournament with columns for 順位 (Rank), 氏名 (Name), 出場コース (Course), 1R, 2R, and Total scores.

西日本パブリックアマチュアゴルフ選手権競技 (四国地区)

開催日: 5月21日(水) ~ 22日(木) 開催コース: コート・ペール徳島GC 7011Y, P72 参加人数131名

Ranking table for the tournament with columns for 順位 (Rank), 氏名 (Name), 出場コース (Course), 1R, 2R, and Total scores.

西日本パブリックアマチュアゴルフ選手権競技 (中国地区)

開催日: 5月15日(木) ~ 16日(金) 開催コース: 米子G場 6210Y, P71 参加人数90名

Ranking table for the tournament with columns for 順位 (Rank), 氏名 (Name), 出場コース (Course), 1R, 2R, and Total scores.

中部日本パブリックアマチュアゴルフ選手権競技

開催日: 5月21日(水) ~ 22日(木) 開催コース: 小杉CC 6848Y, P72 参加人数145名

Ranking table for the tournament with columns for 順位 (Rank), 氏名 (Name), 出場コース (Course), 1R, 2R, and Total scores.

各地区決勝成績

Table of tournament results for various regions including 32T to 42T, listing names and scores.

各地区決勝成績

Table of tournament results for various regions including 82T to 182T, listing names and scores.

各地区決勝成績

Table of tournament results for various regions including 125T to 182T, listing names and scores.

各地区決勝成績

Table of tournament results for various regions including 14T to 182T, listing names and scores.

各地区決勝成績

Table with 4 columns: Rank, Name, Club, Score. Includes entries like 87 深澤 愛梨, 88T 土土 聡代, etc.

Table with 4 columns: Rank, Name, Club, Score. Includes entries like 86 高井 智美, 87 井上 綾乃, etc.

Table with 4 columns: Rank, Name, Club, Score. Includes entries like 47 加賀 夏実, 48 坂井 七菜, etc.

Table with 4 columns: Rank, Name, Club, Score. Includes entries like 40 那須野ヶ原, 41 坂井 七菜, etc.

Table with 4 columns: Rank, Name, Club, Score. Includes entries like 42 那須野ヶ原, 43 坂井 七菜, etc.

Table with 4 columns: Rank, Name, Club, Score. Includes entries like 44 那須野ヶ原, 45 坂井 七菜, etc.

Table with 4 columns: Rank, Name, Club, Score. Includes entries like 46 那須野ヶ原, 47 坂井 七菜, etc.

西日本女子パブリック アマチュアゴルフ選手権競技

開催日: 5月9日(金)
開催コース: 奥津GC
5528Y、P72 参加人数155名

Ranking table for West Japan Women's Public Amateur Golf Championship. Columns: Rank, Name, Club, Score.

中部日本女子パブリック アマチュアゴルフ選手権競技

開催日: 5月8日(木)~9日(金)
開催コース: ウッドフレンズ森林公園G場
6118Y、P72 参加人数98名

Ranking table for Chubu Japan Women's Public Amateur Golf Championship. Columns: Rank, Name, Club, Score.

東日本女子パブリック アマチュアゴルフ選手権競技

開催日: 5月8日(木)
開催コース: イーストウッドCC
6241Y、P72 参加人数180名

Ranking table for East Japan Women's Public Amateur Golf Championship. Columns: Rank, Name, Club, Score.

北海道・青森地区パブリック アマチュアゴルフ選手権競技

開催日: 8月25日(月)~26日(火)
開催コース: 随縁CC恵庭C (北海道)
6.961Y、P72 参加人数38名

Ranking table for Hokkaido/Aomori Region Public Amateur Golf Championship. Columns: Rank, Name, Club, Score.

西日本パブリック アマチュアゴルフ選手権競技 (九州地区)

開催日: 5月20日(火)~21日(水)
開催コース: トム・ワトソンGC
6984Y、P72 参加人数130名

Ranking table for West Japan Public Amateur Golf Championship (Kyushu Region). Columns: Rank, Name, Club, Score.

西日本パブリック アマチュアゴルフ選手権競技 (九州地区)

開催日: 5月20日(火)~21日(水)
開催コース: トム・ワトソンGC
6984Y、P72 参加人数130名

Ranking table for West Japan Public Amateur Golf Championship (Kyushu Region). Columns: Rank, Name, Club, Score.

西日本パブリック アマチュアゴルフ選手権競技 (九州地区)

開催日: 5月20日(火)~21日(水)
開催コース: トム・ワトソンGC
6984Y、P72 参加人数130名

Ranking table for West Japan Public Amateur Golf Championship (Kyushu Region). Columns: Rank, Name, Club, Score.

各地区決勝成績

Table of tournament results for various regions including 東日本パブリック, 中部日本パブリック, and 西日本パブリック. Columns include rank, name, and score.

Table of tournament results for various regions including 東日本パブリック, 中部日本パブリック, and 西日本パブリック. Columns include rank, name, and score.

Table of tournament results for various regions including 東日本パブリック, 中部日本パブリック, and 西日本パブリック. Columns include rank, name, and score.

Table of tournament results for various regions including 東日本パブリック, 中部日本パブリック, and 西日本パブリック. Columns include rank, name, and score.

Table of tournament results for various regions including 東日本パブリック, 中部日本パブリック, and 西日本パブリック. Columns include rank, name, and score.

Table of tournament results for various regions including 東日本パブリック, 中部日本パブリック, and 西日本パブリック. Columns include rank, name, and score.

Table of tournament results for various regions including 東日本パブリック, 中部日本パブリック, and 西日本パブリック. Columns include rank, name, and score.

各地区決勝成績

東日本女子シニア
パブリックアマチュアゴルフ選手権競技
開催日:9月25日(木)~26日(金)
開催コース:紫あやめ36・WEST
5719Y、P72 参加人数53名

Table with 5 columns: 順位, 氏名, 出場コース, 1R, 2R, Total. Lists participants and their scores for the Tohoku Women's Senior Public Amateur Golf Championship.

中部日本女子シニア
パブリックアマチュアゴルフ選手権競技
開催日:9月29日(月)~30日(火)
開催コース:亀山GC
5575Y、P72 参加人数20名

Table with 5 columns: 順位, 氏名, 出場コース, 1R, 2R, Total. Lists participants and their scores for the Chubu Women's Senior Public Amateur Golf Championship.

西日本女子シニア
パブリックアマチュアゴルフ選手権競技
開催日:9月25日(木)~26日(金)
開催コース:よみうりGウエストC
5543Y、P72 参加人数25名

Table with 5 columns: 順位, 氏名, 出場コース, 1R, 2R, Total. Lists participants and their scores for the West Japan Women's Senior Public Amateur Golf Championship.

Table with 5 columns: 順位, 氏名, 出場コース, 1R, 2R, Total. Lists participants and their scores for the West Japan Senior Public Amateur Golf Championship.

西日本シニアパブリック
アマチュアゴルフ選手権競技
開催日:9月25日(木)~26日(金)
開催コース:よみうりGウエストC
6866Y P72 参加人数 87名

Table with 5 columns: 順位, 氏名, 出場コース, 1R, 2R, Total. Lists participants and their scores for the West Japan Senior Public Amateur Golf Championship.

Table with 5 columns: 順位, 氏名, 出場コース, 1R, 2R, Total. Lists participants and their scores for the Chubu Women's Public Amateur Golf Championship.

中部日本シニア
パブリックアマチュアゴルフ選手権競技
開催日:9月29日(月)~30日(火)
開催コース:亀山GC
6678Y、P72 参加人数 78名

Table with 5 columns: 順位, 氏名, 出場コース, 1R, 2R, Total. Lists participants and their scores for the Chubu Women's Public Amateur Golf Championship.

Table with 5 columns: 順位, 氏名, 出場コース, 1R, 2R, Total. Lists participants and their scores for the Tohoku Women's Public Amateur Golf Championship.

東日本女子パブリック
ミッドアマチュアゴルフ選手権競技
開催日:7月29日(火)~30日(水)
開催コース:名古屋港GC富浜C
5991Y、P72 参加人数36名

Table with 5 columns: 順位, 氏名, 出場コース, 1R, 2R, Total. Lists participants and their scores for the Tohoku Women's Public Amateur Golf Championship.

Table with 5 columns: 順位, 氏名, 出場コース, 1R, 2R, Total. Lists participants and their scores for the Chubu Women's Public Amateur Golf Championship.

西日本女子パブリック
ミッドアマチュアゴルフ選手権競技
開催日:7月17日(木)~18日(金)
開催コース:グランドオークプレイヤーズC
6111Y、P72 参加人数29名

Table with 5 columns: 順位, 氏名, 出場コース, 1R, 2R, Total. Lists participants and their scores for the West Japan Women's Public Amateur Golf Championship.

Table with 5 columns: 順位, 氏名, 出場コース, 1R, 2R, Total. Lists participants and their scores for the Hokkaido Aomori Region Public Amateur Golf Championship.

北海道・青森地区パブリック
ミッドアマチュアゴルフ選手権競技
開催日:7月25日(金)
開催コース:ダイナスティGC
7053Y、P72 参加人数41名

Table with 5 columns: 順位, 氏名, 出場コース, 1R, 2R, Total. Lists participants and their scores for the Hokkaido Aomori Region Public Amateur Golf Championship.

東日本女子パブリック
ミッドアマチュアゴルフ選手権競技
開催日:7月24日(木)~25日(金)
開催コース:八千代GC
5932Y、P72 参加人数35名

Table with 5 columns: 順位, 氏名, 出場コース, 1R, 2R, Total. Lists participants and their scores for the Tohoku Women's Public Amateur Golf Championship.

東日本シニアパブリック
アマチュアゴルフ選手権競技
開催日:9月25日(木)~26日(金)
開催コース:紫あやめ36・EAST
6460Y、P72 参加人数161名

Table with 5 columns: 順位, 氏名, 出場コース, 1R, 2R, Total. Lists participants and their scores for the Tohoku Senior Public Amateur Golf Championship.

各地区決勝成績

PGSグランドマンスリー [中部日本地区]

開催日: 11月19日(水)
開催コース: 名古屋広幡GC 出場者: 176名

Table with columns: 順位, 氏名, 登録コース, GR, HD, NET. Lists male and female winners and their scores.

PGSプリチストン杯地区決勝 [中部日本地区]

開催日: 10月23日(木)
開催コース: ウッドフレンズ森林公園G場 出場者: 142名

Table with columns: 順位, 氏名, 登録コース, GR, HD, NET. Lists male and female winners and their scores.

PGSダンロップ杯地区決勝 [東日本地区]

開催日: 11月26日(水)
開催コース: 八千代GC 出場者: 89名

Table with columns: 順位, 氏名, 登録コース, GR, HD, NET. Lists male and female winners and their scores.

PGSグランドマンスリー [西日本地区]

開催日: 11月12日(水)
開催コース: 青野運動公園アオノGC 出場者: 122名

Table with columns: 順位, 氏名, 登録コース, GR, HD, NET. Lists male and female winners and their scores.

PGSプリチストン杯地区決勝 [西日本地区]

開催日: 11月27日(木)
開催コース: 北神戸G場 出場者: 130名

Table with columns: 順位, 氏名, 登録コース, GR, HD, NET. Lists male and female winners and their scores.

PGSダンロップ杯地区決勝 [中部日本地区]

開催日: 11月6日(木)
開催コース: 定光寺CC 出場者: 103名

Table with columns: 順位, 氏名, 登録コース, GR, HD, NET. Lists male and female winners and their scores.

PGSドリーム・エイジゴルフ大会地区決勝 [東日本地区]

開催日: 10月21日(火)
開催コース: 那須野ヶ原CC 出場者: 39名

Table with columns: 順位, 氏名, 登録コース, GR, HD, NET. Lists winners and their scores.

PGSグランドマンスリー [東日本地区]

開催日: 11月4日(火)
開催コース: ムーンレイクGC市原C 出場者: 117名

Table with columns: 順位, 氏名, 登録コース, GR, HD, NET. Lists winners and their scores.

PGSダンロップ杯地区決勝 [西日本地区]

開催日: 11月5日(水)
開催コース: 西神戸G場 出場者: 143名

Table with columns: 順位, 氏名, 登録コース, GR, HD, NET. Lists winners and their scores.

PGSドリーム・エイジゴルフ大会地区決勝 [中部日本地区]

開催日: 10月29日(水)
開催コース: グランシエロGC 出場者: 33名

Table with columns: 順位, 氏名, 登録コース, GR, HD, NET. Lists winners and their scores.

PGSグランドマンスリー [西日本地区]

開催日: 10月27日(月)
開催コース: つるやCC西宮北C 出場者: 42名

Table with columns: 順位, 氏名, 登録コース, GR, HD, NET. Lists winners and their scores.

PGSドリーム・エイジゴルフ大会地区決勝 [西日本地区]

開催日: 10月27日(月)
開催コース: つるやCC西宮北C 出場者: 42名

Table with columns: 順位, 氏名, 登録コース, GR, HD, NET. Lists winners and their scores.

Table with columns: 順位, 氏名, 登録コース, GR, HD, NET. Lists winners and their scores.

西日本ミッドシニア パブリックアマチュアゴルフ選手権競技

開催日: 9月25日(木)~26日(金)
開催コース: よみうりGウエストC 6451Y、P72 参加人数79名

Table with columns: 順位, 氏名, 出場コース, 1R, 2R, Total. Lists winners and their scores.

Table with columns: 順位, 氏名, 出場コース, 1R, 2R, Total. Lists winners and their scores.

東日本ミッドシニア パブリックアマチュアゴルフ選手権競技

開催日: 9月25日(木)~26日(金)
開催コース: 紫あやめ36・WEST 5914Y、P72 参加人数124名

Table with columns: 順位, 氏名, 出場コース, 1R, 2R, Total. Lists winners and their scores.

中部日本ミッドシニア パブリックアマチュアゴルフ選手権競技

開催日: 9月29日(月)~30日(火)
開催コース: 龜山GC 6256Y、P72 参加人数69名

Table with columns: 順位, 氏名, 出場コース, 1R, 2R, Total. Lists winners and their scores.

Table with columns: 順位, 氏名, 出場コース, 1R, 2R, Total. Lists winners and their scores.

中部日本ミッドシニア パブリックアマチュアゴルフ選手権競技

開催日: 9月29日(月)~30日(火)
開催コース: 龜山GC 6256Y、P72 参加人数69名

Table with columns: 順位, 氏名, 出場コース, 1R, 2R, Total. Lists winners and their scores.



あなたと、つぎの景色へ

日本発、世界基準へ。 B330シリーズ誕生。

「ハイドロコア」*が
飛びの常識を変える。

*特許出願中

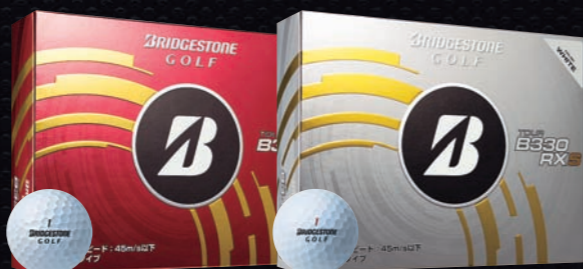
(イメージ)

推奨ヘッドスピード45m/s以上

推奨ヘッドスピード45m/s以下



飛びの TOUR B330 スピンの TOUR B330S



飛びの TOUR B330RX スピンの TOUR B330RXS



Be your Best.

BRIDGESTONE GOLF

ブリヂストンスポーツ株式会社
商品のお問い合わせはお客様コールセンター 0120-116613
平日10:00~17:30(土・日・祝日および当社指定休日は除く)
www.bs-golf.com

BRIDGESTONE GOLF
サイトリニューアルオープン!



第12回 全日本ミッドシニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技 10月15日(木)~16日(金) 鹿島南蔦科ゴルフコース(長野県)

●申込期間/7月1日~31日
●参加料 予選6,480円(税込)/地区決勝・予選通過者3,240円(税込)・予選免除者9,720円(税込)/全日本:地区決勝通過者3,240円(税込)・地区決勝免除者12,960円(税込)
●参加対象年齢/65歳以上(昭和25年12月31日以前誕生) ●競技方法/予選18ホールストロークプレー、地区決勝並びに全日本は36ホールストロークプレー

予選競技日程
地区決勝
東日本地区(17試合)
中部日本地区(10試合)
西日本地区(16試合)

平成27年度 PGSスポンサー杯/ハンディ杯

PGS会員を対象にしたアンダーハンディ競技「スポンサー杯/ハンディ杯」は4地区で計100回を超える予選を開催しています。各競技の予選日程によっては、翌年度地区決勝への進出となります。詳細は開催要項などにてご確認ください。

ダンロップ杯
プリチストン杯
ハンディ杯
H28年
H28年3月10日(木) 新玉村ゴルフ場

平成27年度 PGSドリーム・エイジゴルフ大会

平成21年度からスタートした「PGSドリーム・エイジゴルフ大会」(参加資格65歳以上の男女)。「年齢」をハンディキャップに採用したユニークな競技方法にて開催しております。今年度も皆様のご参加をお待ちしております。

東日本地区
中部日本地区
西日本地区

日本パブリックゴルフ協会会報 [PUBLIC GOLF NEWS] No.82 平成27年2月1日発行

発行/公益社団法人日本パブリックゴルフ協会 〒104-0061 東京都中央区銀座1-19-16 銀座昭和ビル2階
TEL:03-3563-2388 www.pgs.or.jp
○表紙イラスト/久我 修一 ○表紙・本文デザイン/内田 年昭 ○中部地区記者/児玉 光雄 ○編集・制作協力/株式会社ヌーベル